

東京歯科大学同窓会会報 第371号

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
お知らせ	2
保 険	3～4
学 術	5～6
母校だより	7～10
東京歯科大学 創立120周年記念事業	11～17
父兄会だより	18～19
支部のうごき	20～27
ふるさと自慢	28
クラス会だより	29
OB会・グループ・サークルだより	30
すいどうばし	31
庶務日誌	32
逝去会員・追悼	33～34
へんしゅうこうき	35

(表紙 野村 淳)

セピア色の写真館 ～思い出の一枚（剣道部）～



写真上 S42年 福島県会津東山温泉にて夏合宿。初代部長の溝上喜久男先生、OB、同窓会役員と現役部員の集合写真
写真下 S45年 昭和43年に続き二度目の秋季関東医歯薬獣医科剣道大会優勝



S36年水道橋校舎屋上にて
(近江, 駒形), 当時の垂れはTDC
マーク

剣道部

剣道小史から読み取れるように、戦前はもとより戦後の活躍もまた目覚しく、幾多の金字塔を築き上げてきた。その裏には計り知れない汗と悔し涙、そして歓喜の涙があった。その時代々々にOBと部員のドラマがあって、一つ一つの繋がりが出来、それが大きな絆となって今に続いている。「……稽古が厳しく、合宿が早く終わらないものかと何度も思った、そして、部を辞めようと思え思った。……しかし、今は楽しい思い出だけが残っている。諸先輩ありがとうございます、後輩の諸君ありがとうございます。」そして「なにか後輩の



S40年初代部長溝上喜久男先生と二代目部長加藤倉三先生
(加藤先生の初めての剣道正装姿)

ためにしてあげたい。」と言葉がつづく。

戦後、有志が集い、剣道具も無く道場も師範も無く、竹刀一本を持ってグラウンドでの素振りから始まって50年余、オールデンタル・医歯薬獣においてトップの座についた。しかし、僕等は忘れない、同好会から部に昇格出来たときの学監北村勝衛先

生のことばを「お前たちはそんなにもやりたいのなら体育大学へ行きなさい、しかし東京歯科へ入ったのなら本分を真中に据えて置かねばならんヨ」

「医はこれ済生ひとえに仁なり
国手の精神窮理の治法 挙りて磨かむ……」

(昭和36年卒・近江誠一 記)



H12年4月29日 東京歯科大学剣道部創立80周年記念祝賀会

日本歯科医学会の役割



会計担当常任理事

江里口 彰

日本の歯科医学を基礎から支えている学会を纏めているのが日本歯科医学会（以下、日歯学会という。）です。その歴史は古く、日本歯科医師会が戦後の混沌とした歯科界に少しでも学術的な支援が出来ないかということで、昭和23年に日歯学会の前身である日本歯科医師会学術会議を創設したことから始まります。ちなみに現在4年毎に行われ21回を数える日本歯科医学会総会も、第一回は昭和24年11月に日本歯科医師会学術会議総合学会として開催されております。そして日歯学会が常置されて、その運営を開始したのは昭和35年であって、歯科基礎医学会、日本歯科保存学会、日本補綴歯科学会、日本口腔外科学会、日本歯科材料器械学会、日本矯正歯科学会および日本口腔衛生学会の7専門分科会をもって組織されました。現在約73の歯科関連の学会が存在しますが、日歯学会には専門分科会21、認定分科会16が所属しており、会員数は日本歯科医師会会員65,360名、専門・認定分科会会員28,195名を合せて合

計93,555名（平成20年11月30日現在）の大きな組織となっています。

日歯学会の目的は「歯科医学の発展を図って、歯科医療の向上を目指す」と定められております。この設立の精神を現実のものとするべく、日歯学会では、昨今の歯科医療界を取り巻く極めて困難な状況を的確に捉え、日本歯科医師会との連携を緊密に取りつつ、「歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築」や「研究成果の迅速な臨床現場への普及体制の構築」並びに「近未来へ向けての歯科医療ビジョンの構築」などを大きな柱として、会務の運営を推進しています。

さて、同窓の先生方は分科会の会員となり研究活動には積極的に参加されていると思われませんが、この日歯学会の役割についてどの程度理解しているのでしょうか。診療報酬改定に向けた学術的根拠の提供、各都道府県歯科医師会と共催した学術講演会の開催、年1回手元に届く日本歯科医学会誌の発行とか、昨年横浜で行われた日本歯科医学会総会の開催など、多くの先生方はこの程度しか浮かばないのではないのでしょうか。

ここでは日歯学会が行っている事業の中で、特に先生方にとって身近に関係するもの1、2を簡単に紹介します。

歯科診療ガイドラインライブラリーのWEB上での設立です。これは各分科会が独自に作成している診療ガイドラインが、歯科診療の現場で広く活用されるよう、日本歯科医学会が一元管理をして、医療情報サービスMindsへの掲載支援や、先生方への診療ガイドラインの提供を容易にすることを目的としています。

2つ目はプロジェクト研究。平成19年度から実施しており、研究テーマは各分科会と各県歯科医師会から公募する形式を採り、原則として診療報酬改定における新規医療技術の保険導入、既存技術の再評価に資するものとしています。3テーマを選択して研究資金を分配し、研究期間は最大2年、幅の広い研究結果を得るために専門以外の学会にも参加を呼びかけています。

このように日歯学会では、現在同窓会本部が進めている機構改革と同様、機能を充実しながら合理的・効率的に、しかも会員の目に見える事業展開を進めています。先生方におかれましては、日歯学会会員は分科会だけでなく日本歯科医師会の会員全てがその資格を有することを再認識され、歯科医師会および分科会を通して日歯学会に対する種々の意見、要望等を積極的に寄せることにより、歯科医学の発展にご自身として参加していただきたいと思っております。

お知らせ

理事会より

●理事会より

名簿情報確認のための調査票がお手元に届いていることと思います。まだ調査票を同窓会に返送されていない会員の方は急ぎお送り下さい（8月31日まで）。登録されている名簿情報と現住所が異なる方は必ず変更をお願いします。住居の変更がない場合でも、平成の大合併による住所変更もあります。ご注意ください。

同窓会事業・行事

●第37回全国ゴルフ大会

と き 平成21年9月17日（木）

ところ 茨城県・大利根カントリークラブ

●平成21年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会

と き 平成21年11月28日（土）

ところ 如水会館（千代田区一ツ橋2丁目）

●TDC 卒後研修セミナー2009プログラム

No.4 根管形成法・根管充填法の基本と応用

～根管治療のあたらしい3S (Safety
Speedy Surely) ～ 9月6日(日)

No.5 フラップ手術の基本

～for beginners～ 7月12日(日)

No.6 1枚のX線写真からみられること

～デンタルパノラマX線撮影のコツと
読影～ 10月4日(日)

No.7 歯科医療の将来へ向けて

～国民歯科医療の充実とは～

11月8日(日)

地域支部連合・支部関係

●支部長交替

平成21年7月1日付

小石川支部 高橋 義一 氏 (昭48卒)

前支部長 稲田 勝紀 氏 (平1卒)

母校関係行事・案内

●平成21年度東京歯科大学学会 詳細は8ページ参照

第288回 総会 平成21年10月17・18日（土・日）

演題締切 8月25日（火）

●平成22年度東京歯科大学入学案内（入試要項は9ページに掲載）

平成21年度 東京歯科大学 入試ガイダンス日程

	開催日時	場 所	備 考
第4回	11月1日（日）13時～16時	千葉校舎	大学紹介、入試科目ポイントの説明、 入試概要説明、個別相談等、模擬授業 〔大学祭実施中〕
第5回	12月6日（日）13時～15時	水道橋校舎 血脇記念ホール	大学紹介、入試科目ポイントの説明、 入試概要説明、個別相談等

※開催時間、内容は「予定」となります。

保 険

「レセプトオンライン化への対応」

東京歯科大学同窓会 保険部委員会

歯科における「レセプトオンライン請求義務化」は平成23年4月診療分の請求からと予定されていますが、その現状と今後の対応について考えてみましょう。

【社保基金、国保連合会の対応】

平成21年3月より歯科においてもレセプト電算処理システム（「レセ電」）が稼動し、紙レセプトに代わって、FDやCD-Rでの提出が可能になりました。7月現在、「レセ電」の利用は東京では17医療機関となっていますが、今後徐々に増加していくものと思われます。

歯科での「オンライン請求」はまだ始まっていませんが、近々可能になると思われます。（但し、義務化は平成23年となります。）

【政府の方針】

日歯広報等でも報じられていますが、今年3月に「規制改革推進3ヵ年計画」の見直しが行われ、「地域医療の崩壊を招くことがないように、オンライン請求が当面困難な医療機関等に配慮する」、また、「義務化において原則例外規定を設けない」と、「原則」の文言を加えることとなりましたが、平成23年4月診療分の請求からの原則オンライン化への方針に変更はないとされています。

“400床未満の病院で「レセ電」有り”及び“調剤薬局で「レセコン」有り”については、今年4月診療分からオンライン請求が義務化されましたが、厚労省は対応できない機関に対して期限の猶予措置をとりました。しかし、対応できない状況届を毎月提出させ、早期に対応するよう求めています。

【日歯の対応】

オンライン請求の「義務化」には反対、あくまでも手挙げ方式を主張しています。

一方、安価なレセコンの開発に着手、開発業者をNTTデータとして、仕様をほぼ決定、平成22年1月からのサービス開始に向けて準備をしています。費用は、登録料50,000円月々の利用料は19,800円（パソコン等の費用を除く）とされています。このソフトはASP方式で提供され日歯のサーバーと各医院のパソコンをオン

ラインで結んで使用するもので、日歯サーバーを通じてオンライン請求を行うことができます。

【レセコン各社の対応】

レセコンベンダー各社の対応はまちまちですが、概ね今年秋頃までには「レセ電」に対応するソフトを提供できる体制を整えつつあります。

【今後2年間の対応】

平成23年4月まではどのような請求方法も認められません。CD等での請求も可能ですし、オンラインが始まればオンラインでの請求も可能、もちろん紙レセプトでの請求も可です。

〈レセコン使用、紙レセプトの場合〉

現在レセコンを使用している場合、業者が「レセ電」に対応し、そのバージョンアップ等の費用に問題がなければ、CD等での請求を徐々に考えていく必要があるでしょう。

まず今の「紙レセプト」を「電子レセプト」へ置き換えることが必要となります。オンラインは単に送り方の問題ですので、まずは「レセ電」に対応することが先決です。

〈手書き、紙レセプトの場合〉

今、手書きの紙レセプトで請求している場合はどうしたらいいのでしょうか。平成21年4月に現存し、レセコンを使用していない場合で、翌22年3月末までの請求件数が600件以下の医療機関は平成23年4月以降も一定期間、紙レセプトでの提出を認める経過措置があります。手書きの場合、月平均50件を超える場合には、レセコンの導入も考える必要があります。

【代行請求について】

オンライン請求ができない場合には、「代行請求」が認められています。

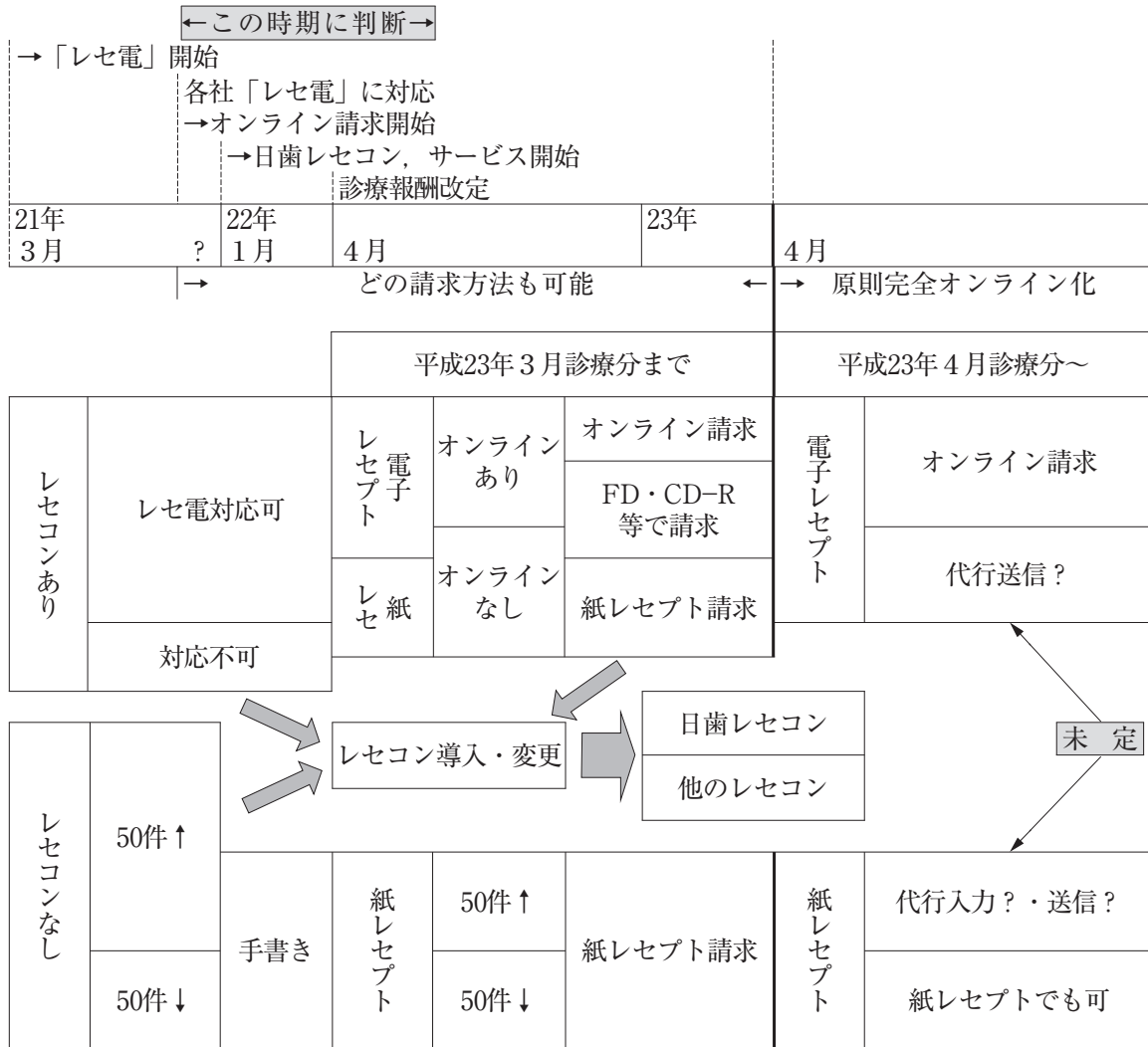
代行請求は現在、歯科医師会等の歯科医師等を主たる構成員とする団体にのみ認められています。レセコンを使って作成された電子データ（CD等）の送信のみを代行する「代行送信」は比較的安価に問題なく行えると考

えられます。しかし、紙レセプトから電子データへの置き換え、即ち「代行入力」については、費用、時間、確実性等の問題を含み、可能かどうかを含めて、今後、良く検討されなければなりません。

【レセコン導入の判断時期は？】

今レセコンをお使いでも、業者によっては「レセ電」

に対応できない、機種により対応できない、等の問題も出てくるでしょう。手書きの場合でも件数が多い場合には、レセコン導入を考える必要があります。レセコン各社の対応が揃い、日歯レセコンが登場するのが今年（平成22年）の秋から冬。平成22年3月には診療報酬の改定があります。従って、この時期に状況を見極めて判断するのが、最適といえるのではないのでしょうか。



【メリット・デメリット】

「レセ電」と「オンライン請求」のメリット・デメリットは別々に考える必要があります。

「レセ電」即ちFDやCD等で提出することによって、紙への印刷、編綴等が不要になり、運搬・郵送も楽になります。

現在レセコンを使用していて、「レセ電」に対応するだけであれば、バージョンアップの費用が生じることもありますが、比較的簡単に対応できます。レセコンの操作は今までと変わらず電子レセプト（CD等）が作れます。但し、新たにレセコンを導入する場合は、新たな費

用が発生します。

「オンライン請求」では、送信を行うだけですから、CD等を郵送・運搬する手間も省けます。

基金・連合会での受付時間が延長されます。5日～10日は9時～21時、10日は24時まで受付可です。

受付・事務点検ASPの利用により事前チェックができ、誤り分は12日まで再受付可です。（但し、都道府県によっては一部相違する場合があります。）

また、請求用パソコンを別に用意する必要があり、オンライン請求用の回線費用が生じます。

卒研レポート2009

新素材， 歯冠修復の新たな潮流 ～メタルフリー修復を臨床に取り入れよう～

5月24日(日)上記の卒研セミナーを取材しました。技工サイドで主に使われるのはメタル，セラミックス，レジンであり，審美性，生体親和性，強度，操作性が重要であるの言うまでもありません。

セラミックスは審美性，生体親和性は良好ですが，割れやすく強度，操作性が悪かったです。しかしジルコニアの登場によって強度が増し，キャドキヤムの登場により操作性も向上していて，メタルに追いついて来つつあります。

操作的にはジルコニアの上に陶材を盛る訳ですから，メタルボンドでとんでしまう物はジルコニアでもとびますが，どんどん陶材も開発されジルコニアの収縮に近づく物ができています。

ジルコニアの登場によりメタルフリーブリッジも製作，装着可能となり，これからどんどんメタルボン

ドがオールセラミックスに代わっていくと思われれます。ただやはりメタルに比べ，0.1～0.2ミリは厚みが必要ですから舌側の厚み等が問題点です。

では実際の臨床上の問題です。色をだしたい時にはシリカ系のエンプレス2でファイバーコアを使用するのが良いと思われれます。下顎前歯は強度が必要なのでジルコニアでリユースサイトの入っているものがよく，形態修正（矮小歯等で）ではラミネートがよいです。現時点ではジルコニアのラボ代の方がメタルボンドに比べ高価ですが症例が増えるに従い価格も下がるでしょう。

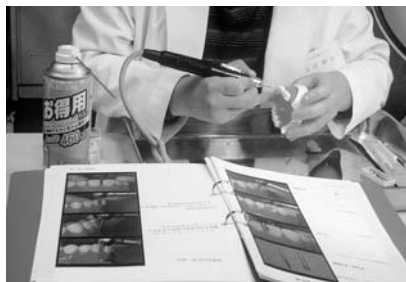
咬合調整はセットしてからが主でカーボランダムで行います。（中心咬合位では点接触ですが側方運動では面接触をつくる理由により）咬合力のかかる臼歯部ではジルコニアでフレームが基本です。コンタクト調

整は押し込まないでペーパーをいれて少しずつ削除します。ポイントは研磨も考えながら方向を考えて使用するの言うまでもありません。

割れる原因としては，形成，接着の両方が考えられます。適合が悪いとたわみも大きくなります。歯髄刺激については深い時にはまず充填用のコンポジットレジンで歯質の処理をしてから充填（封鎖性をたかめるのが重要だから）します。接着剤はきちんとプライマー，ボンディング材，セットで使うようにするのは言うまでもありません。

以上，形成の実習，講義と盛りだくさんの一日でした。材料の事，臨床の事，技工の事まだまだ勉強する事は沢山あります。是非次回は同窓の先生方に沢山御参加して頂き有意義な一日を過ごして頂きたいと思ひます。

（取材・広報部 尾崎圭子）



卒研リポート2009

全身管理と偶発症に強くなろう

6月21日に血協ホールにて39名(内同窓生14名)の受講者が参加して開催されました。

この講演の主旨は、歯科治療において患者さんの高齢化に伴い全身管理や偶発症の予防・対処の重要性が非常に高まっていることにどう対応すべきかという点です。残念ながら一部の患者さんは歯科診療に恐怖心を持っており、実際局所麻酔や歯牙の削合といった行為により大きな侵襲が生じることもあります。このため常にバイタルサインをチェックすることにより早期に異常に対処することがさらに重要になっています。

最初に歯科麻酔学講座の一戸達也教授によりバイタルサインの基礎についての講演がありました。機器がなくても問診、視診、触診といった術者の五感を生かした観察によりかなりの異常を感知することができることと述べられました。呼吸系(呼吸数、換気量)、循環系(血圧、脈拍)、中枢神経系(意識、応答)などはモニターがなくてもある程度異常を感知することが可能です。

次に、福田謙一准教授の生体情報モニターの使い方についての講演がありました。バイタルサインを連続的に観察することにより、治療中の全身状態を常に把握し、異常にいち早く対処することにより医療安全を確保することがモニター監視の意義であることを強調されました。パルスオキシメーター、血圧計、心電計を組み合わせたチェアサイドモニターの機能とその活用法について説明されました。

さらに縣 秀栄講師が歯科治療時に気をつける全身疾患として、呼吸

循環器系、脳神経系、血液、代謝内分泌系等の主要な疾患について概説されました。特に抗凝固薬(ワーファリン等)、抗血小板薬(バイアスピリン等)を服用している患者さんの外科処置に際して、最近では休薬をせず局所止血処置を充分に行なうことにより、対処が可能であるとのことでした。また、備えるべき緊急薬剤、対診における照会状の書き方についても話されました。



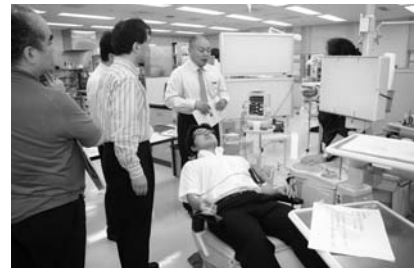
基礎実習に移り、まず生体情報モニターの装着としてマンシートの巻き方、心電計の電極やパルスオキシメータープローブの取り付け方を実習しました。電極は、胸でなくても両腕につけても使用可能とのことでした。さらに生体回路(点滴回路)の作成を行い、点滴、点滴回路、三方活栓、翼状針等の組み立てにあたっての注意点、特に感染を引き起こさない方法を実習しました。

発展実習に移り、心肺蘇生総合実習ではマネキンを使用して気道確保とポケットマスクによる人工呼吸と心臓マッサージを組み合わせた心肺蘇生法を学びました。



静脈確保・静脈鎮静実習では2名1組となって互いに翼状針を用いて静脈確保を行ないました。なかなか慣れない実習のため苦労なさった方もおられたのではないのでしょうか。

生体モニター総合実習は口腔外科外来の診療台に模擬患者(麻醉科院生)が、脳貧血様発作、過換気症候群、狭心症発作の迫真の(?)演技を見せ、2名1組でモニターの装着、バイタルサインのチェック、酸素吸入などの適切な処置を考えながら行ないました。より実践的な実習となり、臨床現場で遭遇した際の疑問も出て、熱心な質疑も行なわれました。



このセミナーで学んだ知識や経験は我々一般臨床医にとってはめったに遭遇することのない事例のためのもので、より安全安心な歯科診療を行うためにはどうしても必要なスキルであると思います。

(取材・広報部 小池 修)

『千葉病院専門外来 口臭外来』

東京歯科大学千葉病院総合診療科
教授 角田 正 健



より快適で清潔な生活への願望は、益々強くなっております。口の臭いへの対処は、社会人としてのエチケットとも言えるものとなっております。しかし口臭は、自分自身でその程度を評価できるものではありません。それは、臭いをキャッチする嗅細胞（嗅粘膜）が、口腔と交通している鼻腔の最上部に存在するという解剖学的位置関係に起因しております。仮に口の中に悪臭が存在していたとしても、自分の嗅覚は常にその臭いに晒されているわけで、順応（疲労）が起こってしまい、自分自身の口の臭いは分からなくなってしまうのです。ですから口臭は、第三者の嗅覚で評価されるものとなります。しかしながら臭いの評価は主観的であり、言葉で適切に表現することも困難であります。それ故、一旦口臭が気になると、悩み苦しむこととなります。

口臭外来の目的は、まずこのような口臭をグラフや数量化して、臭気レベルを具体的に患者さんに提示することです。したがって、口臭が有るか無いかを明らかにすることが、口臭外来が行う第一の役割となります。口腔には500億を超すとも言われる細菌が棲息しており、剥離した上皮細胞・死滅した細菌・血球成分などタンパク質も豊富です。したがって、タンパク分解能のある細菌がタンパクを分解した終末過程で、臭気物質は産生されており、誰の口腔にも常に臭気は存在しております

（図1）。しかし病的な口臭の原因疾患は、口腔領域の疾患に起因することが圧倒的に多く、特に歯周疾患はその筆頭に挙げられます。オーラルクロマ（図2）やガスクロマグラフ（図3）による検査の結果、心配されたような口臭が認められたならば、精査のうえ歯科口腔領域の原因疾患を治療し、口臭の改善を図ることが口臭外来を担当する私達の第二の業務となります。口臭を気にする患者さんは、比較的口腔清掃も行き届いている方が多いのですが、特定部位のプラークコントロールが不良で、あるいは縁下菌石が存在するために軽度の炎症が認められることもあります。このようにどなたの口腔内とも大差が無い場合でも、時に口臭として感じられることもあります。ブラッシング指導やスクレーピングなどの歯周基本治療を行うことによって、驚くほど症状の改善が見られることもあります。気づかず進行してしまった歯周炎では、歯周外科手術による炎症の消退が効果的なこともあります。生活改善で体調を管理することによって、唾液分泌を促進したり、舌苔の付着を抑制することも口臭の改善に役立ちます。

もちろん同窓の先生方はじめ各医療機関から、口臭検査をご依頼頂きました紹介患者さんにつきましては、検査結果とともに予測される原因疾患あるいは必要とされる治療について、診療情報提供させて頂きま。中には他覚的にまったく口臭が

認められず、検査値も正常であるにも拘らず、なおご自分の口の臭いに拘る方がおられます。むしろこのような患者さんほど治療が困難であり、時間をかけたカウンセリングが必要となります。それでもなお歯科医師による対応を超えるものについては、千葉病院内に開設された精神科専門医による診療歯科で診療を行っております。

千葉病院における口臭外来は、平成13年5月に保存科第一診療室内に開設されました。以来1,700名を超える患者さんを担当させて頂いております（平成21年3月現在）。すべて予約診療で火・木曜日の午前中のみとなりますが、最近では受診希望者が多いため平成19年以降は一人の検査・診察の時間を1時間に短縮し、診療枠を増やしましたが多少の予約待ちをお願いしております。患者さんをご紹介頂きます場合には、診療情報提供料1,250点を算定の上、診療情報提供書を持参して下さい。初診日には、保険診療にて歯科的疾患の診査を行い、口臭検査は保険適用外で自費診療となることを説明し、起床後のブラッシングや飲食の禁止など検査当日の注意事項をお伝えして、予約日を決めさせていただきます。なお、遠方からお越しのため初診日に検査を希望される場合は、予め電話にて予約致しますので患者さんより直接電話頂けるようご案内下さい。

また、口臭検査の自費診療料金は

下記の通りです。

初診料	3,000円
再診料	1,000円
オーラルクロマによる呼気測定	2,000円
ガスクロマトグラフによる呼気分析	5,000円
1時間を超す相談料	3,000円

なお、千葉病院口臭外来の担当医は14名（平成21年4月現在）で、教授1名、講師3名、助教（以前の助

手）3名、レジデント（以前の病院助手）7名であります。これらの歯科医師の所属は、総合診療科4名、歯周病学講座9名、歯科保存学講座1名であり、予め決められた口臭外来当番日に担当し、その患者さんの担当医となるシステムです。

口臭外来へのお問い合わせは、東京歯科大学千葉病院保存科受付
電話番号：043-270-3904へお願い致します。

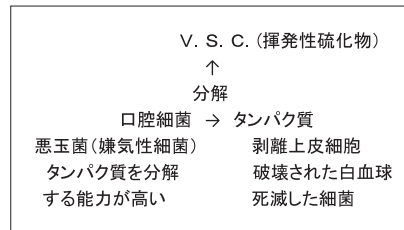


図1 口臭発生メカニズム

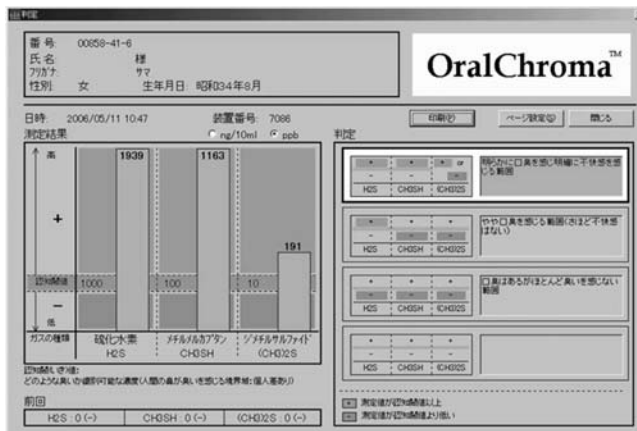


図2 オーラルクロマによる口臭測定結果と判定

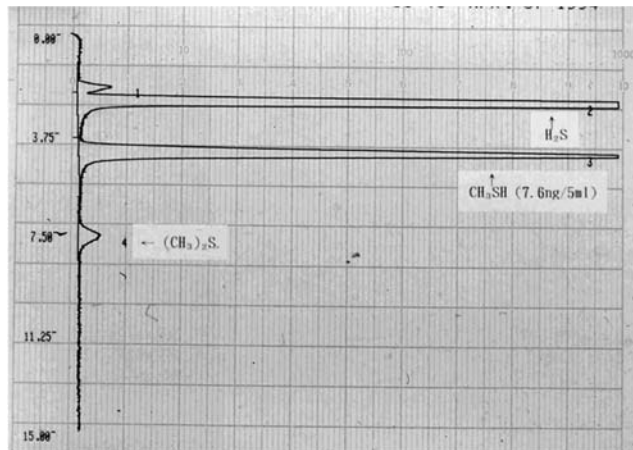


図3 ガスクロマトグラフによる臭気分析

歯科学報が好評です！

第108巻第1号から表紙を斬新的なデザインに変更し、内容も会員の大半が開業医であることを念頭に置き、臨床に則した内容を増やしました。Q & A は皆さまから寄せられた臨床的な疑問を本学の教員が回答

するという企画です。裏表紙の目次をご覧になって、青色の記事は本学120周年記念記事です。「継承と発展」—研究と診療の最前線—は、各講座や研究室の主任教授にお願いした記事です。また

「名誉教授に聞く」も貴重でかつ興味深い内容も含まれています。最近、会員から好評です。是非、歯科学報が届きましたら手にとって読んでみてください！

水道橋で、東歯学会が面白い！

本年10月18日(日)に水道橋で開催される東京歯科大学学会は、「歯科医院の苦情は患者の信頼度—医療安全と日本苦情白書から—」と題した招待講演を、苦情・クレームアドバイザーの関根眞一氏に依頼しました。関根さんは「となりのクレマー」、「日本苦情白書」、「歯科医院のクレーム対応術」などの著書を執筆されています。

また「再生療法の新たなる潮流」と題したシンポジウムを開催します。座長を山田了教授、演者を臨床の立場から谷口威夫先生と船越栄次先生に、これからの展望として栗原英見広島大学教授にお願いしました。さらに恒例の姉妹校共同シンポジウムとして、やはり歯周病をテーマ

として、韓国の名門延世大学から歯周科学教室の金鐘寛教授と、口腔生物学教室の鄭翰聖教授、さらに本学微生物学講座の石原和幸教授に講演を依頼しました。皆さまお誘いの上、血脇ホールに！
東京歯科大学学会編集部担当
および学会部担当理事
櫻井 薫

平成22年度東京歯科大学入学案内（東京歯科大学入試要項より）

1. 入試日程一覧（全募集人員128名）

入試制度	募集人員	出願期間 (期間内必着)	試験日	合格発表日	試験会場
推薦入学	約45名	平成21年11月2日 ～ 平成21年11月11日	平成21年 11月14日	平成21年 11月17日	東京歯科大学 水道橋校舎
帰国子女・ 留学生特別選抜	若干名				
学士編入学	若干名				
一般入試（Ⅰ期）	約50名	平成21年12月16日 ～ 平成22年1月27日	平成22年 2月2日	平成22年 2月5日	東京会場： 東京歯科大学 水道橋校舎 大阪会場： 天満研修センター
大学入試センター利用 試験（Ⅰ期）	20名				
一般入試（Ⅱ期）	約10名	平成22年2月23日 ～ 平成22年3月9日	平成22年 3月13日	平成22年 3月16日	東京歯科大学 水道橋校舎
大学入試センター利用 試験（Ⅱ期）	5名				
編入学	若干名				

2. 出願資格

推薦入学（一般公募制）

次の各条件を満たし、かつ高等学校長が責任を持って推薦する者

1. 平成21年3月高等学校卒業者および平成22年3月高等学校卒業見込の者
2. 人物・性格ともに優れ、健康である者
3. 入学を許可された場合、必ず本大学に入学することを確約できる者

学士編入学

4年制大学を卒業した者および平成22年3月卒業見込の者

帰国子女・留学生特別選抜

次の各項のいずれかに該当する資格を有し、入学を許可された場合、日本語での授業を理解できる者

1. 外国において、平成20年4月から平成22年3月までに学校教育における12年の課程を修了した者および修了見込の者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
2. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成22年3月31日に18歳または19歳の者
3. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成22年3月31日に18歳または19歳の者
4. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成22年3月31日に18歳または19歳の者

編入学

次のいずれかを満たす者とする。

- ① 4年制大学卒業生および平成22年3月卒業見込の者
- ② 医療技術系短期大学を卒業した者または平成22年3月卒業見込の者
※医療技術系短期大学とは、看護・歯科衛生・歯科技工・臨床検査・診療放射線・理学療法・作業療法・臨床工学・言語聴覚等の分野を履修する短期大学
- ③ 4年制大学に2年以上在学し、所定の単位を取得した者
※所定の単位は、総単位数65単位以上とし、うち数学・物理学・化学・生物学に関する科目について合計16単位以上を必要単位数とする。

3. 試験内容

入試制度	選考内容・試験内容
推薦入学（一般公募制）	(1) 小論文 (2) 小テスト [外国語 (英語), 数学, 理科 (物理・化学・生物から1科目選択)] (3) 面接
帰国子女・ 留学生特別選抜	
学士編入学	(1) 小論文・小テスト (英語を含む総合試験) (2) 面接
一般入試 (I期)	(1) 学力試験 (出題範囲は※1参照) (2) 小論文 (3) 面接
一般入試 (II期)	
大学入試センター利用試験 (I期)	(1) 大学入試センター試験の受験科目 外国語 「英語」 数 学 「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」の2科目 理 科 「物理I」, 「化学I」, 「生物I」から I期は2科目, II期は1科目 (※2参照) (2) 小論文 (3) 面接
大学入試センター利用試験 (II期)	
編入学	(1) 学力試験 (2) 小論文 (3) 面接

※1 一般入試 (I期, II期) 学力試験出題範囲

外国語 (英語: 英I, 英II, リーディング, ライティング, およびオーラルコミュニケーションI, IIに共通な事項。ただし, 実際に音声を使ったリスニングテストは行わない。)

数 学 (数学: 数I, 数II, 数A, 数B。なお数Bは「数列」と「ベクトル」を出題範囲とする。)

理 科 (物理, 化学, 生物の3科目のうち1科目を試験場で選択する。なお出題範囲は下記のとおりとする。)

物理: 物I, 物II [ただし, 学習指導要領に示された物理IIのうち以下のものを除く「(3)物質と原子」の「イ原子, 電子と物質の性質」, 「(4)原子と原子核」]

化学: 化I, 化II

生物: 生I, 生II [ただし, 学習指導要領に示された生物IIのうち以下のものを除く「(3)生物の集団」]

※2 大学入試センター利用試験における理科受験科目数と合否判定

(I期) 理科について, 3科目を受験した場合は, 高得点の科目から2科目を合否判定に使用する。

(II期) 理科について, 2科目以上を受験した場合は, 高得点の科目を合否判定に使用する。

4. 学納金 (全入試制度共通)

入学金	600,000円 (入学時のみ)
授業料	3,500,000円
歯学教育充実費	4,300,000円 (入学時のみ)
施設維持費	1,000,000円
合計	9,400,000円

— 受験科目詳細・入学手続きその他詳細は [入試要項] をご覧下さい —

(入試要項は, 大学教務課に資料請求して下さい。web サイトからも請求可能 <http://www.tdc.ac.jp/>)

東京歯科大学 創立120周年記念事業

東京歯科大学120周年記念事業学長座談会

日 時：平成21年6月23日 14:00～16:00

場 所：法人事務局5階
創立120周年記念事業準備室

出席者：

金子 讓 東京歯科大学学長
大山萬夫 東京歯科大学同窓会会長
関 泰忠 東京歯科大学同窓会専務理事



関 昨年8月の同窓会報第365号に掲載して以来、1年ぶりの座談会となりました。

大山同窓会長は就任以来1年6ヵ月経ち、その間、全国の地域支部連合会・地域支部会にお邪魔をして、会員の先生方のお話を聞き、同じ目線での執行を心がけてまいりました。各地域では同窓の先生から大学移転計画・歯科医師国家試験合格率・大学入学志願者の動向などの大学に関する質問も沢山頂きました。本日は大学の現況、水道橋移転計画の進捗状況等を中心にお話を頂けたらと思います。よろしくお願ひ致します。

金子 よろしくお願ひします。前回の座談会では、社会情勢や大学を取り巻く環境、そしてそれらを踏まえた上での移転計画の意義についてお話しさせて頂きました。それから1年経過したところで、現状を踏まえた移転計画の進捗状況をお伝えできれば幸いです。

大山 よろしくお願ひします。今回は、同窓から移転計画に関していくつかお聞きしたいという声を紹介しながら、お答えを頂ければと思って

おります。

【移転計画の概要】

大山 それでは、まず移転計画の骨組みが出来上がってきているとお聞きしておりますが、そのあたりをご披露頂けますでしょうか。

金子 そうですね。今回の同窓会報にも掲載させて頂きますので(16～17ページ参照)、併せてご確認頂きたいと思います。これは、本年の5月29日に開催されました法人理事会・評議員会で承認を受けた、水道橋移転の基本計画とスケジュールです。

関 ではこちらに沿って、順を追って伺いたいと思います。まず始めに「大学移転審議会」の設置とありますが。

金子 これは、移転に関して意思決定を行っていくための組織の一つとして、理事会で設置されたものです。基本計画については今回の理事会・評議員会で承認を得られましたが、今後は細部にわたる様々なことを決定していく必要が出てきます。そのための意思決定のフローを説明しますと、まず末端のグループで原案をつくり上げ、その原案を移転計

画推進委員会で統合します。これは大学の組織として教授会で設置した委員会です。そしてこの大学移転審議会を通した上で教授会や理事会に諮り、決定するという流れになります。

大山 最終決定前に審議を行う機関ですか。この中には学外の学識経験者も入るとありますね。

金子 はい。評議員の中から、同窓の方にも入って頂きます。関専務理事もそのうちのお一人ですね。そして、最終的な意思決定は学務に関しては教授会、経営に関わる問題は理事会、評議員会で決定されます。もちろん、学務の重要なところは理事会、評議員会でも承認を受けて実施することになります。

関 続いて、水道橋移転の基本計画ということで、校地校舎について触れられています。

金子 基本的には、今年2月の同窓会報第368号にてご案内したとおり、水道橋近隣の3つの校舎が軸になります。校舎の名称については理事会、評議員会で承認を受けた時と少し変えています。いずれにしても仮称ではあるんですが、東京歯科大

学のイメージはやはり水道橋ですから、御茶ノ水校舎ではなく、水道橋さいかち坂上校舎としています。あくまで仮称ですが。

大山 同窓の中からは、校舎を3つに分散することに対して、機能や効率率が下がってしまうのではないかと懸念も一部出ています。

金子 これは、先日の評議員会でも井出建設担当常務理事が説明をしていましたが、水道橋の3校舎は稲毛の敷地の中に充分納まってしまうくらいの距離感なんです。

大山 水道橋にいと離れているようにも思えますが、それだけ千葉校舎が広いということですね。

金子 千葉校舎と一口に言っても、基礎棟や病院棟、教養棟など建物は分かれていますよね。ということで、もちろん同じ建物に全てが集約されているのが最も望ましいことは確かですが、校舎が分散することに対してはさほど心配していません。

関 この土地の取得決定をされたのは、昭和第一高校と協同での校舎開発事業中止を決断された際のことですが。

金子 その通りです。先方の事情により、当面共同開発の進展が見込めない状況でもあり、代替になり得る校地候補地を積極的に探していたのですが、ちょうどその時期は世界同時恐慌の中で土地が手放されやすい状況であり、かつ価格が下がっていました。それに加えて本学の財政状況が購入を許す状況であったことで入手できたのですが、これは非常に、ある意味神懸的なタイミングじゃないかと思ったぐらいです。ロケーションとしても、非常にいい場所だと考えています。

関 続いて、建設フレーム、千葉校舎についての記載があります。

金子 建設フレームはご覧の通りです。この基本方針に従って、今後設

計を進めていく予定です。千葉校舎については、一つの方針転換を確認いたしましたので、会員の皆様にもお知らせしたいと思います。

大山 当初の計画では千葉の敷地を売却し、移転の原資とする予定と伺っておりました。

金子 はい。しかし、昨年のリーマンショックに端を発した世界同時不況の影響を受け、都心だけではなく千葉の地価も相当下落しています。移転計画の財務面については後ほど改めてお話ししたいと思います。今の状況で千葉の土地を売却することは、大学にとって決して有利なことではないと認識しています。従って、昨年3月に決定した計画は、昨今の社会情勢により一部修正をし、売却は当面行わないこととなりました。

関 それでグラウンドをそのまま大 학교地として使用すると。

金子 そういうことです。

大山 最後にスケジュールがかなり具体的に記載されていますね。

金子 これも大きな方針転換の一つです。以前は大学を一括移転する予定でしたが、今年度における歯科大学志願者の激減——これも後で触れたいと思います——という状況を踏まえ、1年でも早く都心へ新入生を迎え入れることを目標に、段階的移転という計画を立てています。現在の計画では、3年後の平成24年4月に新入生が水道橋さいかち坂上校舎に入学し、翌平成25年の4月には上級生が千葉校舎から移転して来るといったスケジュールを基本路線としています。

大山 3年後と聞くと、もうあつという間ですね。

金子 そうです。来年の入学生は恐らく卒業までに水道橋校舎へ移転するでしょうから、今年度の入学試験から水道橋校舎で行うことも検討して

います。

大山 そうしますと、昨年の3月に水道橋移転を実施することが学校法人として決定されたわけですが、今のお話のようにその時点から変更された内容もあるということですね。

金子 はい。昨年の時点で決定した基本理念と基本構想に基づき、この1年間で用地買収などを進めながら基本計画を立案してきたわけですが、当然社会情勢や経済動向を踏まえたものでなければ非現実的な計画となってしまいます。環境の変化によって基本構想を修正することは、当初の理念を実現するためにはむしろ必須であるとも言えます。

【移転計画の財務面】

大山 移転に関する財務的な問題についても同様に検討されているわけでしょうか。

金子 大前提として踏まえなければいけないのですが、今の時代は、グローバルな視点で見た時に、もう予測ができない経済状態になっています。経済というのは常に変動を続け、それに連動して、やはり歯科界も変動します。保険制度、経営、受験生全てそうです。ですから、予測できない経済の変動に対応するためには、研究でも、教育でも、それから診療でも、全てにおいて質を上げる以外ありません。ただ、予測が出来ないとは言ってもある程度想定しなければ計画が立てられませんので、常に検討を続けながら、現状に即して財務計画を立てています。

関 差し支えない範囲でお聞かせ頂けますか。

金子 まず、先ほども話題に上がりましたが、千葉校舎の売却は当面行いません。時代がそういう時ですから、安く売却することはしないで移転したいと考えています。そのためには手持ちの資金に加えて融資を受けることが前提となります。現在検

討しているのは、千葉校舎が旧耐震基準に従って建てられていますので、新耐震基準を満たす建物への建替えを目的として私立学校振興・共済事業団から融資を受けると、国から利子に対する助成を受けることが出来ます。結果的に非常に低利での借入れが出来ますので、可能な範囲で利用したいところです。必要であれば市中金融機関からの融資も検討しますが、当然後々の返済を勘案しながら、無理のない範囲で行うことになります。

大山 千葉校舎を売却しないと、それに代わる原資が当然必要だということですね。

金子 そういうことです。また、先ほど歯科大学志願者激減に対するために移転時期を早くしたと言いましたが、財務面でも急ぐだけのメリットがあります。

関 大学を水道橋に移転することによって規模を縮小し、経費を抑制するということは昨年の座談会でも述べられておられました。

金子 大学の高機能・低経費化は東京歯科大学の将来構想として、依然変わりなく重要な要素であり、それも理由の一つですが、その他にも現在の不況によって、土地取得費や建築費が逆に抑制できるというメリットが挙げられます。なおかつ、消費税の問題が浮上してきました。税率を12%に引き上げというニュースが流れていますが、もしこの政策が実現するようなことがあれば、移転計画に重大な影響を及ぼします。

大山 そうお聞きしますと、この世界的な不況も東京歯科大学にとっては追い風という印象を受けますね。

金子 先ほど神懸りのと表現したのもそういう意味です。もちろん、急激な変動に対応できるよう、常に情報収集と速やかな対応を怠らないよう努めなければなりません。

【歯科界の不振】

関 では、今年度の歯科大学志願者の激減について、お話を伺えますか。

大山 歯科大学・歯学部の変員割れ問題は新聞の一面記事にもなりましたので、同窓としても非常に気になります。

金子 そうですね。ここまでお話ししてきた経済不況もその原因の一つと思われませんが、特に歯科医師過剰問題とこれに関連した歯科の将来性への疑念が大きな要因でしょう。その他にも18歳人口の減少、医学部の定員増など様々な要因が考えられます。

大山 これは、今年突然に減少したのなんですか。

金子 私立歯科大学・歯学部の志願者総数は平成18年以降、数年間は微減を続けていましたが、今年の落ち込みはかなり急激でした。志願者総数の変動を歴史的に見ると、2つの大きなサイクルになっていることがわかります。最初の山が昭和40年頃から昭和55年頃まで志願者数が急激に増加していますが、これは国民皆保険が始まって歯科医療を受けたいという人がどんどん出てきた。それで歯科医師不足だということで歯科大学や歯学部が増え、受験生も増加したものです。

本学も同様に志願者数の増加がありました。途中で減少に転じています。これはこの時代に他大学が多数出来てきたので、志願者が分散したものと分析しています。

ところが、総志願者数は昭和55年頃をピークに減少に転じます。これは、もう昭和50年ぐらいから既に歯科医師が過剰になるという話が出てきているんです。そして、昭和56年ぐらいには閣議決定でも定員削減だと。歯科医師が多すぎるとというのが国の認識となり、当時の文部省と

厚生省も、政策的に削減しなきゃいけないというのを言い出すわけです。これが世間に伝わり、人気がなくなってくるという流れです。

大山 昭和62年頃が最も減少したわけですね。

金子 そうです。昭和42年頃と同水準にまで減少しました。ここまでが一つの山で、この時に大学の募集人員削減が俎上に上がり、本学も定員の2割、32名を募集人員から削減しています。この時は現在以上の志願者数減少でしたので、受け入れざるを得ない状況であったと思います。そこからまた持ち上がってきますよね。ちょうどバブル景気などを追い風として、ほぼ5年で2回目のピークを迎えます。そして追い風が止むと、また歯科医師過剰問題が出てくるわけです。特にここ数年では、文科省でも厚労省でも強くいろんな政策的な提言の中でそれを言い出していますね。国家試験がより難しくなるとか。

大山 実際、全体の合格率は年々下がってきていますね。

金子 そうなんです。受験産業というのはそのあたりに非常に敏感でして、高校の進路指導、予備校でも、その辺は非常にきちんと情報を取り、歯科は将来がないとはっきり言い出すわけです。これが新聞に出たりするわけです。

関 診療所がコンビニより多いとかですね。

金子 そう。一般の人たちに伝わり出しました。そんなこともあって、現在はこういう状態になった。ただ、このような志願者の落ち込みは前に1回経験しているんです。

大山 前回の時は募集人員2割の削減があったわけですが、今回もそのような話が出るのでしょうか。

金子 もう出てきています。各大学1割の更なる削減という要望は平成

10年に厚生省から出ていますし、現在も生きています。また、私も委員となっている文部科学省の「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」の第1次報告の中で、歯科医療の質を保証するためには、資質のいい学生を入れろと言っているんです。そして、定員不足の大学、国家試験合格率が低い大学、これらは定員の見直しが必要だと、そういう報告が出されています。

大山 そうしますと、歯科大学の二極化が進みますね。

金子 全くその通りです。ただ、東京歯科大学は今のところ他大学よりは志願者数の減少がゆるやかです。これはやっぱり、偏差値や国家試験合格率でもいい方に入っていますから、それが一つの優位性であるわけですね。引き続き大学としてのアピールができるよう常に努力を続けなければならないと思っています。

【稲毛から水道橋へ】

関 では続いて、稲毛に移転してから30年しか経っていないのにどうして移転するんだとか、せっかく立派な研究施設が出来たのに、水道橋へ移動すると一からやり直さなきゃいけないんじゃないとか、そのあたりの懸念の声が同窓の一部から上がっています。

金子 移転の理由や何故今か、ということについては、昨年の座談会や同窓会報の記事を通じてご案内してきましたので簡単に触れるに留めますが、受験生確保対策、大学の高機能・低経費化を実現するためであり、耐震補強や設備改修など、千葉校舎に多額の投資が必要となった今が、移転を決断するのに最も好機であると学校法人が判断したためです。

大山 大学が都心にあることが受験生確保に有効であるということですか。

金子 我々はそう分析しています。先程の私立歯科大学と本学の志願者数について、昭和35年から今年までのデータがあるわけですが、本学が稲毛に移転した昭和56年までと、稲毛で入試を始めた昭和57年から現在に至るまでの2群に分けて、これを統計学的に解析してみました。すると本学の志願者数は、水道橋時代の平均623名に対し、稲毛に行ってから平均497名と、約2割減少しています。一方、全国の私立歯科大学の志願者総数はどうだったんだろうということ、昭和56年までと昭和57年からの2群を比較しても、有意差がないんです。言い換えると、昭和56、57年を境にして全国の歯学部志願者数が変わっていない一方で、本学の志願者数は2割減少した、ということです。

大山 それは稲毛移転が原因と言うことですか。

金子 あくまで統計学的な解析ですが、受験生の志向は都心なんだろうと思うわけです。日本歯科大学や日本大学歯学部の志願者数が、本学のそれをずっと上回っていることも、これを補強する事実です。

関 本学と東京の大学の両方に合格して、東京へ行っちゃおうという受験生もいるんでしょうね。

金子 それは入学試験をやっているも如実に感じます。今の受験生は面接でも普通に併願校を言いますからね。私が面接官のときは、日大を併願している受験生が多かったです。理由は、まず偏差値。それから、都内へ行きたい。この2つです。はっきりしています。東京歯科大学が一流で存続するためには、いい素材を入れるということが原点です。それには、優秀な人たちが行きたいと思うような大学にしなければいけないということですよ。そのためには、やっぱり立地が一つの要素であ

るというのが今のお話でお分かり頂けると思います。逆に、研究拠点を再構築することについても、都心の利便性がありますから。生涯研修の開始等、今後の新しい事業展開のみならず、研究・教育でも競争と連携、そしてグローバルというキーワードで、将来大学を発展させるのには都心の利便性が欠かせません。水道橋は文京地区ですし、経済・文化などあらゆる都市機能ではこれ以上の場所はありません。今まで以上に効率的な拠点が構築できると確信しています。

【授業料について】

大山 一方で受験生確保に密接に関わるのは、授業料の問題ですね。

金子 そのとおりです。授業料は、財政的に余裕があれば、本当に明日からだって下げたいんですが、そんな余裕はありません。だから、本学が都心に来て、いい大学だということのを売りにして、そして時期を見て余裕が出来たらという気持ちでいます。

大山 移転に係る費用を原資にして授業料を下げるという選択もあるのではないかと、という意見も一部の同窓にはあるようですが。

金子 そうですね、確かに移転には多額の投資が必要ですから、そのお金を使うのであれば、という声があるのは承知しています。ですが、これも以前にお話ししているので繰り返しますが、このまま稲毛にいる場合でも、耐震改修その他で少なくない額の投資が必要になります。そうすると、今後東京に移転したいという意思があっても、財務的にそれが許されない状況になってしまいます。その上授業料の減額を行うとなると、例えば水道橋の病院を維持出来なくなるかもしれません。

大山 稲毛か水道橋か、という選択になってしまうわけですか。

金子 例えの話です。ここが歯科大学の辛さで、医科の大学は病院収入が非常に大きいですからね。学納金を2割下げようと、3割下げようと、たいした割合ではないんです。だから、3割ぐらい下げてもいいから、優秀な人材を集めようということとやるわけです。一方で、歯科の病院は大抵赤字です。水道橋病院も、また千葉病院も人件費を考慮すれば、赤字になります。そんな中で、本学の平成20年度決算は11億円黒字だったわけですが、これは実は大変なことです。そしてこの黒字というのは、学生の納付金と、市川総合病院で出したものなんです。

大山 だから授業料を下げ難いと。

金子 そう。本来は、病院収入で黒字化ができていれば、学生の納付金というのは下げられるんです。だから、結局は病院も頑張らなきゃいけないという話にはなるんですが。学納金も将来的には下げざるを得ないでしょう。ですが、今の時点で授業料を下げると、水道橋に移転することを比べて、どちらが大学の将来構想実現に資するかという話なんです。どうか同窓の皆様には、学校法人は決して軽々に移転を決断したのではないということをご諒解頂きたい。

【おわりに】

関 では最後になりますが、今回の移転に関して募られるであろう寄付金について、大学のお考えをお聞かせ頂けますでしょうか。

金子 ここまでお話ししましたように、千葉校舎の売却を行わないで移

転を行います。大学の経済状況が厳しい中で。従って、同窓の先生方のサポートは非常に大きな力になります。ただ、歯科界も稲毛移転の時代とは違うことは、重々承知しています。稲毛移転当時もそうであったと思いますが、寄付というのはやっぱり自分の母校を思うがゆえ、あえて身銭を切るという意識でなされるのだということは、大学側もはっきり認識しております。

大山 そうですね。稲毛移転当時にも同窓から多大な寄付が大学に寄せられました。

金子 あれは当時の大学にとって非常に大きな助けになり、その力でこの30年間発展を続けることができたと言えます。千葉キャンパスは、同窓の皆様のお力添えもあって充実できたものですので、安価での売却は行いません。大学にとって最も有効な時期に、有効に活用したいと考えています。

大山 そういう理由もあって売却に慎重な判断をされているわけですね。

金子 そうです。そして今回の寄付の対象としては前からお話をしているように、新しい血脇記念ホール、それから歯科資料室。後々まで残るこれらの整備に掛かる費用に対して、寄付をお願いしたいと思っています。当然外部へ寄付をお願いするだけではなく、大学の教職員にも協力を募りたいと考えています。

関 教職員にもですか。

金子 そうです。今は歯科界を取り巻く状況も、東京歯科大学自身に

とっても、断崖絶壁の時だという危機感を持って取り組んでいるわけです。その背景があったからこそ、我々がこれだけ大きな決断をしたということを、よくご理解頂きたいと思います。同窓の皆様がいろいろと心配をして頂いているのは、大学にとってありがたいことです。ただ、大学の活動、いわゆる学務に関することは、我々はプロフェッショナルであると自負しておりますし、大学の財務は教学と病院ですので、これも大学運営そのものに関わる内容となります。また今回の建築的なこともそれぞれ専門家の意見を聞きながら、そして冒頭でありましたように外部の意見も聞きながら意思決定をして参ります。その点をご安心くださいと、そう思います。

大山 最後に力強いお言葉を聞くことができました。これからも随時、移転の進捗状況などお話しを頂戴したいと思います。本日はありがとうございました。

金子 ありがとうございます。

関 長時間に亘りお話を伺いました。大学移転に関しては、堅実な計画の基、着実に行われている事のご説明を頂きました。これからも、このようなお時間を頂き、同窓の先生方に情報の提供を致したいと考えますのでご協力宜しく願いいたします。本日は有難うございました。これを持ちまして、第二回の対談を終了致します。

大学の水道橋移転関係報告について

理事長 熱田 俊之助
学長 金子 謙

同窓会会員 各位

大学の水道橋移転計画については、同窓会会報第364号掲載記事（平成20年6月発行）、同第365号掲載座談会（同8月発行）、同第368号掲載記事（平成21年2月発行）等においてご案内をして参りました。

昨年12月3日開催の第653回理事会においては、学校法人昭和一高学園との共同開発事業の交渉の打ち切りが決定され、また、昨年度、下半期以降の経済情勢の変化により、基本計画の中核であった千葉校舎の売却を暫時、延期することとなりました。

このような様々な状況の変化を踏まえ、去る5月19日開催の第557回講座主任教授会、5月29日開催の第657回理事会、第221回評議員会において、新たに決定した水道橋移転の基本計画、並びに移転スケジュールについて、会員各位へお知らせいたします。

1. 「大学移転審議会」の設置

第550回講座主任教授会（平成21年1月13日開催）において承認された組織図に基づき、常務理事、監事、理事長補佐、学外の学識経験者で組織する「大学移転審議会」が理事会、評議員会で承認を受け設置されました。

※ 移転計画全般を取り纏める、学内組織の「移転計画推進委員会」は、第557回講座主任教授会（平成21年5月19日開催）で承認を受け設置されました。学内役職者、教務部長、学生部長、口腔科学研究センター所長で組織しています。

2. 水道橋移転の基本計画

※建物（新校舎）名称は仮称です。

1) 校地・校舎の概要

目標値	水道橋校舎(TDCビル)		新水道橋校舎(リパーク跡地)	
敷地面積	敷地面積 (700%) (1,550㎡)	2,637㎡	敷地面積 (700%) (915㎡)	1,349㎡
	(500%) (1,066㎡)		(500%) (634㎡)	
	(2% 敷付率)	(54%)	(2% 敷付率)	(63%)
目標率	500%/700%		500%/700%	
計画年度	計画年度	21.204年	計画年度	23.276年

水道橋さいかち坂上校舎 (敷付率)	計画	バリアフリー	水道橋の会議棟ビル	計画
敷地面積	495㎡	約900㎡程度 3階棟別棟の 計画決定	敷地面積	500㎡
目標率	500%		目標率	500%
計画年度	21.204年		計画年度	23.276年

2) 建設フレーム（第一次）

建物名（仮称）	建設フレーム
水道橋さいかち坂上校舎	教養棟, 基礎棟 (1, 2 学年)
新水道橋校舎 (リパーク跡地)	基礎棟, 実習講義棟 (3, 4, 6 学年)
水道橋校舎 (TDCビル)	病院棟 (5 学年, 6 学年を含む), 管理棟, 研究棟
水道橋校舎隣接ビル	病院・研究関連施設
その他	西神田, 岡武ビル, 旧市川病院跡地→当面現状維持

※①建設フレーム欄の建物名は、現在の千葉校舎の棟名で各建物の機能を示しています。

②6学年は、今後のカリキュラムの検討、策定により、使用する建物を変更することがあります。

3) 千葉校舎について

①一連の建築物（病院棟・管理棟・基礎棟・実習講義棟）について、移転計画の進捗状況に従い、使用しなくなった部分は順次閉鎖します。

②校地・校舎に掛かる維持管理費の支出は必要最低限とします。

③移転状況により、使用しない校舎のインフラ（電気・ガス・水道等）については停止します。

④グラウンドは大学校地として必要な期間そのまま使用します。

3. 移転スケジュール

第一次移転計画

【水道橋さいかち坂上校舎 建設】

平成22年1月～5月の間に起工式・プレス発表、着工

工事期間（約12～20ヶ月）

平成23年12月竣工

平成24年1月～3月引越, 検証
 平成24年4月開校
【水道橋校舎 (TDC ビル) 改修】
【新水道橋校舎 (リパーク跡地)】
【水道橋隣接ビル】
 平成23年1月着工
 工事期間 (約20ヶ月)
 平成24年8月竣工
 平成24年9月～引越, 検証

平成25年4月開校
 第二次移転計画
 将来的な経済情勢, 社会動向, 本法人の財務状況等を踏まえ, 適宜, 土地の売却, 校地・校舎の整備, 施設・設備の整備等を進める。

今後もお知らせについては会報等を通じて随時行いたいと考えております。会員各位におかれましては, 本計画へのご理解・ご協力をお願いいたします。

120周年記念事業 記念誌編纂部会から 大村光晴先生を訪ねて

今回の訪問は金子学長の紹介により実現しました

平成21年4月15日(水)武蔵野市吉祥寺にお住まいの大村光晴先生(昭和12年卒, 「蜂和会」会員, 97歳)を訪問し, 昭和初期の東京歯科大学専門学校の様子をお伺いしました。大村先生の在学された時代, 本学は4年制で, 充実した講義と活発なクラブ活動の中で学生生活を過ごされたこと, 血脇先生や福島先生の思い出や山岳部の部員として活動された様子などをお話いただきました。

先生の書齋には今もなお, 卒業時に贈られた血脇先生の写真が飾られているとお聞きし, 母校への思いの

深さを強く感じました。

インタビューは同窓の上田祥士先生(昭和53年卒)にご尽力ご同席いただき, 図書館員2名が記録にあたりました。
 (大学広報第236号に関連記事あり)

このような資料を集めておりますので, ご連絡いただければ幸いです。

東京歯科大学創立120周年記念事業
 記念誌編纂部会
 連絡先 東京歯科大学図書館

TEL 043-270-3794 (高橋)



ご子息大村 光さんと

血脇記念ホール及び会議室(水道橋校舎2階)の使用停止について

水道橋移転計画に係る TDC ビル改修工事は, 来年度より着工する予定であります。これに伴い, 水道橋校舎2階「血脇記念ホール」及び「会議室」については, 平成22年10月1日より貸出しすることができなくなります。同窓会会員の皆様におかれましては, 大変ご不便をおかけいたしますが, ご理解のほど宜しくお願いいたします。

学校法人東京歯科大学 法人事務局

父兄会だより

父兄会長就任の挨拶



新会長 東 郷 幹 夫

平成21年度4月より、父兄会の会長という大役を仰せつかり、その重責に身の引き締まる思いがいたします。不肖私めには、責任を全うできるか甚だ不安ではございますが、先人の名を汚さない様、関係各位の協力を仰ぎつつ精一杯努めていきたいと思っております。

父兄会は、昭和22年、戦後の混乱期、窮乏期において、学生が心おきなく学業に専念できる様、側面からサポートしていこうという方針のもとに発足し、時代の変遷にあわせ、今に至っております。学生を取り巻く環境は、まさに時代とともに変わっていき、それは、社会状況の変化にも連動している様に思います。急速なIT化、アナログからデジタルへの移行は、黒か白かを即座に判断する能力が重要視され、また、個を尊重するあまり、いや、個に埋没し、集団のなかでの自己の位置づけが見えなくなり、対人関係が構築できないという現象も指摘されます。それだからこそ、本学の「歯科医師

である前に人間たれ」という血脇イズムが重要であります。学生においては、歯科医学の研鑽は当然ですが、人生の中で、もっとも楽しく、もっとも人格形成に重要なこの時期に、悔いのない学生生活を送っていただきたいと願っております。しかしながら、年々厳しくなる国家試験は、資格試験から、選抜試験と移行し、平成20年度の第102回歯科医師国家試験は、全体で合格率は67.5%と、3人に1人は不合格となる厳しい状況です。幸いにも本学は今回も合格率は87.1%と私立ではトップ、国公立を含めても上位を占めています。これは、学生諸君の努力はもちろんですが、大学教職員のなみなならぬ指導と努力の賜物と感服する次第です。来年創立120周年を迎える本学にあっては、常に歯科界をリードしている自負と誇りを胸に、同窓会大山萬夫会長とともに、大学を支えて行きたいと考えておりますので、同窓の皆様には、今後とも、ご指導、ご協力をお願いいたします。

父兄会長退任の挨拶



前会長 西 宮 寛

私こと、この度、任期満了を持ちまして、父兄会の会長職を辞することになりました。在任中は、井上裕理事長のご急逝という本学にとっては、大変に不幸な出来事がございましたが、大山萬夫会長を始めとする同窓会の皆様方、大学関係者、父兄会の会員の皆様方のご協力により、父兄会としては、大きな問題もなく無事、職務を全うできたことを感謝いたします。特に、来年度は、本学創立120周年ということで、記念事業の実施にあたり、父兄会といたしましても、大学への協力体制を同窓会と歩調をあわせるべく順調に、協議を進めて来たところでもあ

ります。

ところで、本来は、父兄会と同窓会は、目的を異にした別組織ではありますが、本学の学生によりよい修学、学生生活の場を提供してあげたいということは、在学生のご父兄にとっては、云うまでもなく、同窓会員の皆様方にとっても何らご異存のないところかと思えます。このような観点から、今後も、東郷新会長の下、父兄会の会務の遂行に当たりましては、同窓会の皆様方からのご意見、ご尽力を頂くことが多々、あることと思えますが、宜しくご協力の程お願いいたしまして、退任の挨拶といたします。

平成21年度		理事	小山 亨	新潟県	吉田 敏男
東京歯科大学父兄会役員名簿		〃	齋藤 正	富山・石川・福井県	野田 修
会長	東郷 幹夫	〃	川崎 輝子	山梨県	矢崎 篤
副会長	三友 和夫	〃	橋本 東児	長野県	黒岩 茂
〃	佐久間 研次	〃	山本 明彦	岐阜県	太田 功正
〃	植野 順子	〃	荻原 俊美	静岡県	喜田 真司
常務理事(庶務)	深水 千枝子	〃	高崎 一郎	愛知県	青木 宏道
〃	鳩貝 尚志	〃	坂入 道子	三重・和歌山県	大矢 孝臣
常務理事(会計)	藤関 雅嗣	〃	石井 俊昭	京都・滋賀・奈良・大阪・兵庫県	
〃	佐藤 浩一	監事	青木 栄夫		北村 真也
常務理事(貸与)	白田 準	〃	西宮 寛	鳥取・島根県	三原 理功
常務理事(傷害)	鈴木 伸宏			岡山・広島・山口県	柏村 真
常務理事(広報)	荒川 幸雄	父兄会協力委員一覧			徳島・香川・高知・愛媛県
〃	秋草 正美	北海道	市ノ川 正孝		川上 清一
理事	小林 一公	青森・秋田・山形県	菊地 敦子	福岡・佐賀県	藤井 利雄
〃	齋藤 守	岩手・宮城・福島県	鈴木 隆	長崎・熊本県	中西 久人
〃	中村 隆	茨城県	中澤 昭一	大分県	池田 信治
〃	森田 正純	栃木県	菊地 香	宮崎県	大内 昭雄
〃	宮吉 久美	群馬県	築瀬 一彦	鹿児島・沖縄県	前山 泰代
〃	寺本 信三	埼玉県	小谷 隆一		

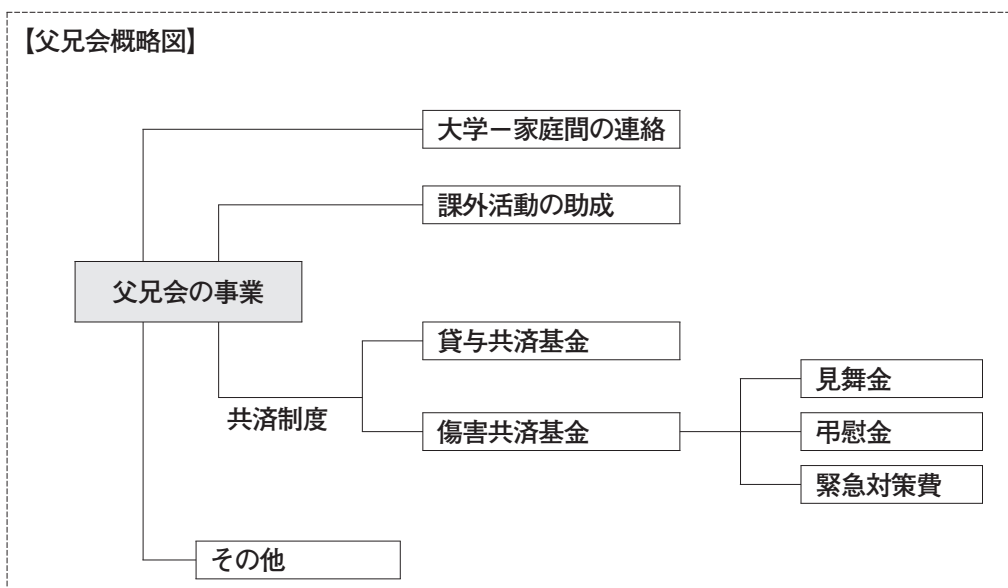
父兄会概要と組織図 (大学ホームページより抜粋)

- 父兄会組織の理解を深めて頂くため掲載しました -

在学生の保護者によって組織されている父兄会は、大学と家庭との連絡を密にし、学生の修学に万全を期するために必要な事業や課外活動に対する種々の援助を行っている。

その歴史は、昭和22年5月、東京歯科医学専門学校父

兄会および東京歯科大学予科父兄会として、それぞれ独立して設立されたことに始まる。昭和24年には東歯父兄会として一体化され、昭和27年に本学が新制東京歯科大学となり、その後、東京歯科大学父兄会と改称されて今日に至っている。



支部のうごき

掲示板

*この掲示板は、同窓会ホームページ <http://www.tdc-tdc-alumni.jp> にも掲載されています。

日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。

印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種目 日時	演題及び講師 又は事業内容	会場	主催 連絡先	外部より 参加可否
社保講習会・学術 講演会 平成21年 9月6日(日) 午後1時～3時	総義歯関係の演題を予定 大木志朗先生 (千葉県開業S58年卒) 矢崎秀昭先生 (東京都開業S42年卒)	ペリエホール(千葉駅ビ ル)ファッション館5階 千葉市中央区新千葉 1-1-1 TEL 043-227-1195	千葉県支部 連絡先 学術担当・大沢有輝 TEL 047-426-4618 FAX 047-426-2636	同窓会員
学術講演会 平成21年 9月6日(日) 午後2時15分～	「有病者の歯科治療」 一戸達也教授 (東歯大歯科麻酔学講座)	名鉄グランドホテル11F 名古屋市市中村区名駅 1-2-4 TEL 052-582-2211	東海地域支部連合会 連絡先 愛知県支部 学術担当・橋本雅範 TEL 052-811-3033	同窓会員
平成21年 10月10日(土) 午後6時	「山に憑かれて」(南米アンデ ス・ヨーロッパアルプス・ヒマラ ヤの撮影記録) 佐々木康之先生 (東京都開業S27年卒)	府中市歯科医師会館 府中市府中町2-25-18 TEL 042-364-6404	北多摩支部 連絡先 担当・奥野和志 TEL 042-361-1872	支部会員 同窓会員 歯科関係
城東・深川合同 学術講演会 平成21年 10月20日(火) 午後7時	「東京都歯科医師会における医事 処理の現状」 北村一先生 (東京都歯科医師会 医事処理常任委員長)	東武ホテルレバント東京 東京都墨田区錦糸1-2-2 TEL 03-5611-5511	城東支部 連絡先 学術担当・久保秀二 TEL 03-5626-2692 FAX 03-5626-2635	同窓会員
学術講演会 平成21年 11月23日 (月・祝) 午後2時～4時	インプラント治療は変わる -検査、コンセンサスそして医療 事故の教訓から- 矢島安朝教授 (東歯大口腔インプラント学 講座)	生田神社会館 神戸市中央区下山手通 1-2-1 TEL 078-391-8765	近畿地域支部連合会 連絡先 兵庫県支部 担当・松本啓道 TEL 078-691-7372	連合会会員
学術講演会 平成21年 11月29日(日) 午後3時30分	「日常診療における口腔粘膜疾患 への対応」 山根源之教授 (東歯大オーラルメディスン 口腔外科学講座)	上田小島歯科医師会館 上田市材木町1-3-6 TEL 0268-22-2160	東信支部 連絡先 担当・荻久保常顕 TEL 0268-64-3660	支部会員 同窓会員 歯科関係 (要事前連絡)
平成21年 12月5日(土)	「インプラント医療の変遷と今後 の展開」-過去・現在・未来- 矢島安朝教授 (東歯大口腔インプラント学 講座)	熊本県歯科医師会館 熊本市坪井2-4-15 TEL 096-343-8020	熊本県支部 連絡先 松田光正 TEL 0969-22-2432	支部会員 同窓会員 歯科関係 県内歯科医師
学術講演会 平成21年 12月12日(土) 午後5時30分	「最近の医療保険の取り扱い」 村上汎先生 (神奈川県国民健康保険診療報酬 審査委員会・歯科部会長)	グランドホテル神奈中 平塚市八重咲町6-18 TEL 0463-23-0300	神奈川西湘支部 連絡先 担当・秋山達郎 TEL 0463-31-2249	支部会員

レイアウトの都合で「支部のうごき」欄ページが順不同になっております。

投稿担当者へお願い：1ページにまとまりよく掲載できるようにご配慮下さい。

北海道地域支部連合会

道連合会報36号が発行される

「心あらん予科卒業生に見せたまは、あの時の市川予科、試みに春光の射し来る小さき学び舎の前に立ちてみよ……」で始まる道連合会報36号がついに発行されました。

今号は市川予科の「リベラルアーツ」を特集しました。他県の同窓の先生にも登場して頂き、まさに市川予科の根源を語るものとなりました。それは「リベラルアーツ」こそ市川予科の設立の目的であり、予科教育の源泉であるからです。

奥村学長が生涯を通じて、全身の力を傾注した予科設立についての秘話などについて、また同窓の心の糧として一生残るものとなった予科講義などを存分に記述しました。

なぜ、市川予科を特集するのかという多くの質問に対して私たち予科卒業生は、静岡の水川先生の言葉を借りて答えるのです。「母校は保険歯科医養成所ではないのです」と、そしてさらに「36号会報を一読して欲しい」と答えるのです。

奥村学長の目指した「リベラルアーツ」を探求すべく本号は、広報担当の全精力を注入しました。

一読して予科卒業生はきっと感涙にむせび、遠き青春への耐えがたき懐古の情に双涙止むことのない自分を見出すでしょう。

また市川予科新校舎完成記念講演を行ったドイツ語教授小池辰雄先生の要約もリベラルアーツを知るために掲載しました。この要約は歯科医に限らず全国民に読んでほしい内容で、当時のリベラルアーツの質の高さを物語るものであります。

さらに、予科逍遥歌を作曲された金子雅英先生の弟御である、弘先生に雅英先生の思い出を語って頂きました。

いずれにしましても、本号の内容の豊富さは今後おそらく追従不可能と思う程であります。全国の同窓諸兄の先生、是非一読を……。

(大内和憲 記)



※残部あります。ご希望の方は下記までご連絡ください。

〒003-0011

北海道札幌市白石区中央1条7丁目
白央ビル2F
大内歯科小児歯科クリニック

院長 大内和憲
TEL・FAX 011 (863) 6061

中国地域支部連合会

中国地域(岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県)の連合総会は、2年に一度各県支部持ち回りで開催されます。今回は、山口県支部が担当で平成21年5月30日(土)に岩国市にて開催されました。大学からは、金子 譲学長、学術講演会の講師として中川寛一教授、同窓会からは、大山萬夫会長、原 武仁監事、安田順一理事のご臨席を賜りました。

総会は、楊井 孝山口県支部長の

挨拶から始まり、学長のご挨拶、同窓会会長のご挨拶、各県支部長からの現況報告、連合会会計確認、次期当番県の確認と続きました。

金子 譲学長のご挨拶の中で、『近未来を見据えた東京歯科大学の在り方を常に考慮しつつ、これからの展開を考えて行く必要があります。大学の発展と存続の為に同窓会会員の皆様のご理解とご協力を賜りたい。』と申されていました。

大山同窓会長は、『先の不祥事を

反省し、「改革と発展」をスローガンに掲げ日夜努力しています。又、大学の発展を願わない会員はいる訳は無く、発展のためには出来るだけの協力は惜しまないですが、大学側からの十分な説明は必要で、これからも学長とは話し合いを重ねて行きたいと思う。』と述べられました。

各県支部からは、各支部の会員数や現況報告が有り、その後、学校側への要望や現在進行中の事柄に対しての説明を求めました。それに対して、学長から、丁寧な説明が有り1時間半の予定の総会は2時間半かか

りましたが、会員一同学校に対し理解を深めることが出来たと思います。

総会の時間が押し、中川教授にはご迷惑をお掛けしましたが、学術講演会は、『双眼ルーペによる視覚強化と歯内療法』と言う演題で行われました。

臨床に直結する内容で、感覚のみの歯内療法から視覚で確認しながらの歯内療法へと移行させる事で、より確実性を持たせられる事が分かりました。これからは機会があれば大学の研究に基づいた成果に触れて行き、臨床のスキルアップに役立てたいと思います。

講演会の後は、来賓の方々を交えての懇親会へと移行しました。総会や学術講演会の時とは雰囲気が変わり、皆様和気藹々と歓談されていました。

翌日5月31日(日)は、金子学長も参加され記念ゴルフ大会が催されま

した。

場所は、和木ゴルフ倶楽部で初夏に相応しく穏やかな好天に恵まれ、5組のコンペの参加者全員心地良い汗をかいてナイスショット有り、笑い有りの楽しいゴルフを満喫されていました。結果は、島根県支部手銭盛隆先生が優勝されましたが、皆様満足のいく一日に成ったのではないかと思います。

最後に、お忙しい中お越し下さいました来賓の先生方々、各県支部長の先生方々、ご参加頂いた会員の先生方にお礼申し上げますと共に、開催にあたりお世話頂いた先生方に感謝いたします。これからも東京歯科大学と同窓会の発展の為に、微力ながらも協力をして行きたいと思っております。

(山口県支部 福田伸和 記)



四国地域支部連合会

平成21年5月9日(土)さわやかな五月晴れのもと、全日空ホテルクレメント高松にて、東京歯科大学四国

地域支部連合同窓会総会・学術講演会・懇親会が開催されました。総会は、校歌斉唱(4番まで)で始ま

り、開催県香川県の藤本 清支部長の挨拶に引き続き、東京歯科大学同窓会大山萬夫会長並びに、四国地域支部連合会久保田 晃会長より、本部の近況が伝えられました。その中

で、水道橋への校舎移転に際しての同窓会員としての心構え、結束の必要性が熱く語られました。続いて金子 譲学長より校舎移転計画の基本構想案・入学者の数と質の確保対策・国家試験対策・創立120周年記念事業・東京歯科大学の将来構想等についてお話がありました。

引き続き、藤本 清香川県支部長が議長となり、①四国連合同窓会の開催日程について、②四国連合同窓会の広報誌発行について、③四国連合同窓会会長人事、以上について議

事が進行しました。活発な意見交換がなされ、懸案事項も着地点を得て終了しました。

最後に、次期当番県愛媛県の松木建二副支部長よりご挨拶があり、総会は滞りなく終了しました。

学術講演会は、東京歯科大学臨床教授の、二階堂雅彦先生に、「再生療法を中心にした歯周病臨床」という演題でお話を伺いました。歯周病臨床の中で、どのような患者のどのような歯に歯周外科、中でも再生療法を応用するべきなのかを、分りや

すく教えていただきました。

写真撮影の後、ホテル21階の絶景スカイバンケットにて懇親会が開かれました。松崎 晃香川県副支部長、香川県歯科医師会豊嶋建治会長のご挨拶に引き続き、黒田哲生香川県前支部長の乾杯で開宴、鳥養弘一先生のジャズ演奏をバックミュージックに、盛会のうちに終了しました。その後、会場を移しての二次会、さらに……、高松の夜は長かったようです。

(塩田康博 記)



秋 田 県 支 部

平成21年5月16日(土)午後2時より秋田キャッスルホテルに於いて28名の支部会員出席のもと20年度支部総会が開催されました。同窓会本部より柳 清二副会長、大学より口腔健康臨床科学講座小児歯科学久保周平科長を来賓としてお迎えしました。

総会は中村 勤副支部長の開会の辞、物故会員の黙祷に続き高橋昭一

支部長が挨拶され、来賓に対するお礼と支部会員のさらなる協力と団結について述べられ、続いて柳 清二副会長より国政選挙へ本学同窓の先生が出馬する件、卒後セミナー、共済負担金の変更、同窓会の経費節減運営、同窓会名簿の件などの説明がありました。久保周平科長より大学の近況報告をして頂き、私立歯学ではトップの歯科医師国家試験の合格

率を誇る最先端の歯科医学教育の現状を説明して頂きました。

その後、会計報告やその承認などが順調に行われました。定時総会閉会后、久保周平科長による「小児期の外傷歯への対応」と題した学術講演が行われ、日常の臨床につながるすばらしいエビデンスにもとづく処置方針とその予後経過の症例を提示していただき、たいへん貴重なご講演を拝聴致しました。記念写真撮影の後、太田 晃顧問の乾杯のもと懇

親会が開宴しました。柳副会長と高橋支部長は同期という事もあり旧友の親交も深まり多いに盛り上がりました。今回は奥羽大学、松本歯科

大学から5名の出席があり同窓会間の交流を深めました。本支部は女性会員も多く、華やかに和気藹々とした雰囲気の中、終始和やかに時間が

過ぎました。

(清水隆夫 記)



新潟県支部

平成21年度総会

去る6月27日(土)、新潟県阿賀野市の村杉温泉「風雅の宿 長生館」において今年度の新潟県支部総会が、来賓として片倉恵男同窓会副会長、片桐利雄同窓会理事、母校より大学院歯学研究科科長の柳澤孝彰教授をお迎えし、同窓34名の参加を得て開催されました。

総会は、岡田泰幸先生による開会の辞に始まり、鈴木義隆先生を議長に選出し、清水 潮支部長より今後とも母校と同窓会の発展のためご協力を賜りたいとの挨拶の後、ご来賓からは、片倉恵男先生より会務運営

状況、柳澤孝彰先生からは母校の近況、特に大学の移転事業に関わるご報告がありました。引き続き諸報告及び物故会員へ黙祷を捧げた後、議事、協議に移り、次期支部長に高垣順吉先生を満場一致で選出しました。

総会終了後学術講演会となり、東京歯科大学口腔外科学講座准教授片倉 朗先生を講師にお迎えし、「歯科診療所での医療安全 ―感染予防対策の基本を中心に―」と題した貴重なご講演を拝聴しました。

記念撮影の後懇親会となり、常木哲也先生司会のもとで宴は始まり、

河内 博先生の地元歓迎の挨拶、清水 潮支部長、ご来賓挨拶と続き、広瀬 秀副支部長発声による乾杯の音頭の後、終始和やかに懇親の情を深め、大いに楽しい夜を過ごしました。恒例となっている八百枝正樹先生のリードで校歌斉唱し、盛会の中、五十嵐 治先生による万歳三唱、次期支部長となられる高垣順吉先生の閉会の辞にて終宴後も、二次会へと親睦の輪を広げました。

翌日は、紫雲ゴルフ倶楽部にて恒例の親睦ゴルフ大会が開催され、清水 潮先生が優勝されました。

(宇佐美祐一 記)



佐賀県支部

平成20年度支部総会開催

新緑の眩しくなってきた平成21年4月11日(土)午後5時より、日本三大美人の湯として名高い佐賀県嬉野市「大正屋」にて、「平成20年度東京歯科大学同窓会佐賀県支部総会」が佐賀県同窓会会員総勢16名中10名の参加で開催されました。

先ず、支部総会で副島洋二(昭和53年卒)支部長より、母校の創立120周年祝典、大学移転、及び来年度の九州歯科医学大会佐賀開催に向けての準備等の報告がありました。引き続き、幹事の副島 渉(昭和58年卒)先生より伊万里地区、麻生 泰(昭和32年卒)先生への高齢者会員記念の賞状並びに記念品の懐中時計の授与がありました。そして、古賀隆利(平成5年卒)先生より平成20年度会計報告がなされ、つつがなく総会が終了しました。

その後、名旅館として名高い大正屋衆芳亭にて懇親会を行いました。

井内正浩(昭和27年卒)先生の乾杯後、それぞれの世代の水道橋校舎・市川校舎・稲毛校舎時代の思い出話、歯科医師国家試験で母校が健闘している話に花が咲き、いつになくお酒を飲むピッチが速く大いに盛り

上がり、あっという間に時間が過ぎていきました。宴会の後、嬉野の町に若手数人で2次会へ。宿への帰着は早朝でしたが、朝8時には、全員揃って名物の茶粥・温泉豆腐の朝食を頂き散会しました。

(新富芳浩 記)



千葉県支部

東京歯科大学との懇談会

6月25日(木)午後5時より、千葉県成田ホテルミラマールにおいて、母校千葉病院副院長の井上 孝教授による「実際の診療で行える臨床検査」をテーマとした講演会の後、午後6時より、金子 譲学長、薬師寺仁副学長、石井拓男千葉病院長、柳澤孝彰大学院研究科長、山根源之市川総合病院副院長、小田 豊教務部長、佐藤 亨学生部長の各先生にご出席いただき、千葉県同窓会曾我部勉会長はじめ会員約60名との懇談会を開催しました。この会は大学の御膝元の支部として数年毎に定期的に行っております。昨年7月に開催予定でしたが、直前に井上 裕理事長が急逝され中止となりました。今回、金子学長が就任早々出席していただいた2004年以来、実に5年ぶりの懇談会となりました。

各先生のご挨拶では、金子学長は、国家試験合格率が私立では9年連続1番であることを2ページ目に掲げた、印刷されたばかりの新しい大学案内を示され、歯科医師過剰問題、少子化問題など、大変厳しい環境の中、健闘している母校の現状と今後についてお話しされました。また、水道橋移転に関し、平成24年4月から学年ごとに順次移転する計画であること、千葉病院の土地は売却を凍結し、病院の建物はそのまま、使用しない部分は閉鎖する予定が明らかにされました。リーマンショックなどの経済情勢の悪化による地価の下落で、千葉校舎の土地は売却できないものの、駿河台の土地が当初40億円と言われたものが結局10億円で購入出来、さらに水道橋病院の裏の商店などの一列の土地も買収するとのことでありました。薬師寺副学

長からは財務関係のお話があり、我校の経営規模と形態は医科大学と大変似ていて、普通の歯科大学が年間経常収入70～80億円で運営されているのに対し、230億円と規模が大きく、医療収入の割合が普通の歯科大学で約20%であるのに対して、約70%となっているとのことでありました。3付属病院を持つ特色ある大学であることが財務面からも明らかかなようです。石井千葉病院長からは、医療安全の充実をはかり、昨年度の病院収入も良好だったことなどをお話になりました。他の各先生方にも大学の現状についてお話いただき、その後高原映忠本会顧問による乾杯の後、懇談となりました。

本年4月1日より、前県同窓会会長で顧問の浅野薫之先生が千葉県歯科医師会会長に就任されました。同窓の県歯会長誕生は実に23年ぶりのことで、県同窓会として協力の万全の体制を敷くとともに、母校の先生方には連携、ご支援を以前にも増して切にお願い申し上げます。

(長野恭輔 記)



千代田支部

「三水会」親睦会旅行

千代田支部では1年に1度親睦をかねて旅行会を行っている。本年度は6月26日(金)～28日(日)山陰く大山、足立美術館、出雲大社、そして世界遺産「石見銀山」をめぐる2泊3日の旅に行っていました。6月の梅雨の時期でありながら、3日間とも天気は快晴。初日はゴルフ組(大山カントリークラブ)、観光組(大山登山と周辺の散策)どちらも大山の美しい姿を見ながらの楽しい一日となりました。当日の宿泊地は夕日が美しい皆生温泉「つるや」にて日本海の美味を楽しみました。次の日はまず、足立美術館に行きため息が出るほどのすばらしい日本庭園を見学し、数々の日本画、陶芸の芸術にふれ本物を堪能いたしました。昼食は宍道湖湖畔の「皆美館」にて松平不味公好みの鯛めしを頂きました。鯛のそぼろ、卵の黄身と白身のそぼろ、大根おろし、のり、わさびをのせ秘伝のだしをたっぷりそそいでお茶漬けのようにして食べるという大変おいしい料理に皆、大満足でありました。その後、島根城お堀を散策し、地ビール館にて島根の地ビールでのどを潤し出雲大社へと向かいました。縁結びの神様、出雲大社に到着。5円玉を用意し、様々なご縁を期待し参拝いたしました。その後島根ワイナリーにて島根のワインを試飲し、本日の宿泊地、温泉津温泉「のがわや」に向かいました。当時、石見銀山の生活を支えた港として栄え、今なお、当時の面影そのままの町並みが残った温泉津を散策しながら外湯(薬師湯)にも入り、旅の疲れも癒されました。夜は前日とはまた趣が違い、静かに山

陰の温泉津の海の幸と地酒を堪能しました。途中、竹田進(44年卒)、岳史(平成14年卒)先生親子が、浜田市より駆けつけていただき、お酒の差し入れも頂き、大いに盛り上がりました。夜中におばけ?らしきものも現れましたが、神話の国、島根ならではのことでしょうか。最終日はいよいよ世界遺産「石見銀山」へ向かいました。石見銀山の中心部、大森地区へ。銀山遊歩道を散策しながら龍源寺間歩(通り抜け抗道)、そして町並み地区への散策途中は室町時代末から江戸時代はじめに開発された屋敷跡や社寺、間歩などが散見され、岩見銀山の歴史を見ることができました。途中昼食をとり、町並み地区を散策。羅漢寺や、銀山で栄えた商家で毛利家の家臣であった熊谷家の住宅を見学して江戸時代の生活の変遷が見られました。時間ぎりぎりまで観光、散策し出雲空港より後ろ髪を引かれながらも羽田へ、そして家路に就きました。2泊3日の日程では考えられない強行日程で東から西まで山陰の旅を満喫いたしま

した。参加の先生方の皆様のお陰で無事、旅行会を終えることが出来ましたこと感謝申し上げます。

(太田和秀 記)



ふるさと自慢 ～私のお気に入り～

水天宮と甘酒横丁

日本橋

戌の日に、妊婦さんが列をなしてお参りする微笑ましい光景が見られる神社が、日本橋にあります。それが水天宮です。お江戸日本橋から東へ約800m。墨田川にも程近い所に神社があります。

私が小さな子供の頃は毎日行った遊び場で、毎月5日の縁日はとても賑わい、大きな楽しみでした。その後昭和42年に一階は全て駐車場になり、神社は二階になりました。

水天宮の発祥は、今から約700年前、壇ノ浦の合戦で命を落とした安徳天皇の霊を慰める為に、福岡県久留米の筑後川の辺に祠を建て、御霊をお祀りした事に始まります。久留米藩主有馬公により守られてきましたが江戸文政元年参勤交代のため江戸詰をしていた当時の藩主有馬頼徳公が、久留米水天宮から御分霊を江戸屋敷内にお祀りしました。本来は屋敷神として祀られていたのですが、一般の人が扉越し賽銭を投げ込んで信仰したため、毎月5日に屋敷を開放して参拝を許可しました。今でも5日が縁日です。当初は芝にあったのですが、明治5年現在の日本橋蛸殻町に移転しました。

水天宮の隣町人形町は昔ながらのにぎやかな街で、散策するにはもってこいのところ。小説に登場する店も多く、タイムスリップしたような感もあります。明治座の観劇、つづら、刃物、昔ながらの味を守り続ける店やレストラン、ゆっくり歩くと楽しい甘酒横丁です。そんな中でお勧めなのは家庭的なレストラン『ぐるとん』Tel 03-3668-6732で

す。このお店のご主人は日本橋「たいめいけん」で修行したオーナーシェフで、味には定評があります。

(昭和54年卒 中崎俊克 記)



ぐるとん



水天宮



水天宮下の駄菓子屋



ぐるとんのオーナーシェフ



クラス会だより

クラス会開催日程

八 紫 会 (昭和35年卒)	と き	平成21年10月10日 (土) ~11日 (日)
	と ころ	京都・祇園「畑中」
踏 志 会 (昭和41年卒)	と き	平成21年10月24日 (土) ~25日 (日)
	と ころ	新潟県妙高市「赤倉観光ホテル」
福 社 会 (昭和44年卒)	と き	平成21年10月31日 (土) 午後6時
	と ころ	高松市・全日空ホテルクレメント高松

富 巳 会

昭和40年卒

去る6月24日より26日まで、平日にも拘らず44名の参加を得て天童温泉「滝の湯」と米沢市小野川温泉「河鹿荘」に泊まったの三日間に亘るクラス会が盛大に行われました。

この度の世話役は、地元山形長井市在住の堺 清一君と山形市出身で茅ヶ崎在住の後藤 潤君のお二人。

クラス会に先立ちゴルフ組10名は前夜より上の山温泉「月岡ホテル」に集合し、早朝から東北屈指の蔵王カントリークラブで、今なお雪を頂く月山、蔵王、朝日連峰を眺めながらプレーを楽しみ、「滝の湯」で待つ34名と合流。写真撮影、総会もそこそこに懇親会に入り夜の更けるまで再会の歓びを分かち合いました。

二日目はさくらんぼ狩りを楽しみ、次は高島の後藤酒造（後藤潤君の父の生家）を見学、いっぱい試飲、いっぱい買い、そして大吟醸「酒中楽康」をいっぱい差し入れていただき、ほろ酔い気分で今度は大河ドラマ「天地人」ゆかりの地巡り。説明を聴きながら久しぶりに錆びた(?)脳をリフレッシュ。多少お疲れ気味で、次なる宿「河鹿荘」

に到着。

懇親会の前のひととき、大学本部同窓会副会長をしている神谷龍司君から「大学及び同窓会の現況」を話してもらいましたが、そこには母校愛に満ちた眼差しで熱心に聴き入り、口角泡を飛ばして論じ合う参加者一同の姿がありました。懇親会では特注の米沢牛を食べながら、まあよく飲み、よく食べ、よく喋ったこと。いつしか進学課程の学生気分。あの個性豊かな亡き平井先生をはじめ、前置詞の山本先生、そして、いつも額に手を置く嶺脇先生、竹中先生、等々の思い出話があちこちから…。私たちにとって市川での2年間はかけがえない青春そのも

のだったのです。千鳥足で蛭を追い、肩を組みあい校歌を斉唱して二日目を締めくくり、三日目は「オタカポッポ」で有名な笹野一刀彫を見学、上杉謙信・上杉景勝・直江兼統ゆかりの春日山林泉寺に参拝し、再会を期して米沢駅で解散。

堺君の「縁あって皆と出会って50年…」ではじまったみちのく山形でのクラス会でしたが、集まった全員が満ち足りた気分で帰路につきました。

この三日間、いや四日間、実に細やかに心遣いしてくれた堺、後藤両君に心からの感謝と賛辞を送ります。次回は東京で(?)栃木で(?)お会いしましょう。

(白井久雄 記)



OB会・グループ・サークルだより

平成21年サッカー部OB総会



平成21年5月30日水道橋病院血協ホールにて、サッカー部OB総会が開催されました。総会后サッカー部OBである押見一先生(S46年卒)による「ブラキシズムの臨床」をテーマに講演をして頂きました。今回は卒後間もない先生方も多く、皆真剣に耳を傾けている様子が印象的でした。その後、後楽園飯店にて口腔インプラント学講座主任教授の矢島安朝先生の就任祝いと懇親会が行われました。今回は30数名の出席者となり各テーブルで学生

時代の思い出を語る人たち、押見先生に遠慮のない質問をする人たち、クラブならではの雰囲気の中、二次会三次会へと大いに盛り上がりました。来年も多くのOBの先生方に参加していただけるような総会を企画したいと思っております。

なお現役においては関東医歯薬獣医リーグ優勝を果たし五部から四部へ昇格、デンタルに向け現役一同練習に励んでおります。

毎年OB会から現役部員の負担が少しでも軽減される様に補助をしております。最近では会費納入者が減ってしまい会務の運営が厳しくなっており、これについての対策も協議して行きたいと思っております。是非多くのOBの先生方のご協力をお願いいたします。

(OB会長 白田 準 記)



すいどうぼし

全日本歯科医師テニス大会

前田 由美子（昭和48年卒）

新緑がまぶしい中、今年も全日本歯科医師テニス大会が、長野県歯科医師テニス連盟のご尽力で、日本屈指のリゾート地である軽井沢の風越公園テニスコートで開催されました。あいにく天候に恵まれず、雨が降ったり止んだりでしたが、2日間にわたり、全国からテニス愛好家の先生方が集い、熱戦がくり広げられました。

この大会もすでに29回目を迎え、歴史と伝統のある大会に育ってまいりました。毎年、全国の歯科医師会の協力の元で、各都道府県の持ちまわりで開催されています。競技種目は、男子ダブルス、女子ダブルス、ミックスダブルスとなっており、また年齢別にも分かれています。コート上ではもちろんですが、試合後に行われるレセプションでは、各地の名産品を堪能しながら、お互いの取組をたたえ合い、親睦を深める大変意義ある大会であります。最近では、プロテニスプレーヤーを招き、レッスンや講演が開かれ、世界のテニスの話を身近で聞くことができる貴重な機会であり、興味深いものであります。



長野大会実行委員長の犬飼先生のごあいさつ

我校のOBの先生方も多数参加されており、毎年、各種目に好成績をおさめて大活躍されています。皆、久し振りの再会に、テニスのこと、日々の診療のこと、家族や友人のことなど話は尽きません。特に、今年は、実行委員長が、犬飼康元先生（昭和38年卒）、実行副委員長が、布施修一郎先生（昭和48年卒）ということで、このお二人が大役を務めて下さり、思い出深い長野大会となりました。

私も、卒業以来テニス友達として



大会本部テント前



会場となった軽井沢風越公園テニスコート

ずっとお付き合いいただいている小笠原壽子先生（昭和51年卒）と、運良く優勝できました。またミックスダブルスでは、急遽、お願いした犬飼康元先生と100歳以上の部に出場し、2人合わせた年齢が、130歳を越えたにもかかわらず準優勝できました。ありがとうございました。先生には、感謝です。

次回開催県は、福岡県です。また盛大な大会になることを祈念いたします。



往年のテニスプレイヤー畠中君代さん（中央）を囲んで笑談（ペンションにて）

庶務日誌

- 7月
- 1) 理事会
7月8日(水) 第5回常任理事会
- 2) 委員会
7月1日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
7日(火) 学術部委員会 (企画会議)
10日(金) 広報部委員会 (会報編集)
13日(月) 学術部委員会 (研究部委員会)
14日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
16日(木) 事業等検討特別委員会に関する小委員会
17日(金) 渉外部委員会
21日(火) 情報部委員会
23日(木) 同窓会主催全国ゴルフ大会実行委員会
25日(土) 学術部委員会 (全体委員会)
27日(月) 学術部委員会 (企画会議)
- 3) 出張
7月2日(木) 東京地域支部連合会主催都歯関係東歯同窓懇談会 大山会長出席
11日(土) 北海道地域支部連合会総会 (小樽支部担当)
大山会長, 柳副会長, 戸田理事出席
卒後研修会 講師・森田正純先生 (神奈川県開業)
11日(土) 群馬県支部学術講演会
講師・櫻井 薫教授 (母校)
11日(土) 東京医科歯科大学同窓会長・西村 誠先生の叙勲受章を祝う会
服部副会長出席
12日(日) 埼玉県支部総会 関専務理事出席
学術講演会 講師・福田謙一准教授 (母校)
15日(水) 東京地域支部連合会学術講演会
講師・重原 聡先生 (神奈川県開業)
- 21日(火) 練馬支部学術講演会
講師・井出吉信教授 (母校)
- 25日(土) 福岡歯科大学創立30周年記念式典
江崎副会長出席
- 25日(土) 鳥取県支部総会
学術講演会 講師・石原和幸教授(母校)
- 30日(木) 東京地域支部連合会主催東歯保険関係懇談会
大山会長出席
- 4) 事業
7月12日(日) TDC 卒後研修セミナー [基本技術セミナー (No.5 フラップ手術の基本~for beginners~)]
- 8月
- 1) 理事会
8月22日(土) 臨時理事会
- 2) 委員会
8月5日(水) 会則等検討委員会
18日(火) 広報部委員会 (会報企画)
18日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
19日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
24日(月) 学術部委員会 (企画会議)
26日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
28日(金) 保険部委員会
- 3) 出張
8月1日(土) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会
宮地常任理事, 山本常任理事出席
29日(土) 信越地域支部連合会総会
大山会長, 片倉副会長, 片桐理事出席
学術講演会 講師・金子 譲教授(母校)
29日(土) 中信支部学術講演会
講師・矢島安朝教授 (母校)

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

- 昭 35 卒 竹 井 正 章 (73歳) 21. 6. 5
埼玉県支部 〒368-0043 秩父市中町4-3
- 昭 16.12 卒 佐 藤 知 也 (88歳) 21. 6. 5
蒲田支部 〒144-0053 大田区蒲田本町2-19-11
- 昭 14 卒 森 島 忍 (92歳) 21. 1. 14
京橋支部 〒181-0012 三鷹市上連雀3-7-8
- 昭 41 卒 早稲田 正 紀 (68歳) 21. 6. 8
石川県支部 〒920-0804 金沢市鳴和1-6-8
- 昭 31 卒 横 山 嵩 (78歳) 21. 5. 30
千葉県支部 〒169-0075 新宿区高田馬場4-28-29 蝦名方
- 昭 31 卒 古 澤 俊一郎 (77歳) 21. 6. 16
福井県支部 〒915-0854 越前市富士見が丘1-14-4
- 昭 45 卒 前 田 週 司 (65歳) 21. 6. 12
和歌山県支部 〒641-0042 和歌山市新堀東1-2-3
- 昭 56 卒 森 山 貴 史 (53歳) 21. 6. 21
大学支部 〒272-0035 市川市新田5-5-20-205
- 昭 44 卒 和 田 行 一 (65歳) 21. 6. 19
群馬県支部 〒371-0017 前橋市日吉町3-262-12
- 昭 32 卒 小 川 法 数 (76歳) 21. 6. 22
愛知県支部 〒486-0858 春日井市菅大臣町164-2
- 昭 22 卒 桜 井 邦 中 (81歳) 18. 5. 11
千葉県支部 〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘7-52-5
- 昭 16.12 卒 不 破 篤 (90歳) 21. 6. 28
愛知県支部 〒444-0834 岡崎市柱町東荒子242
- 昭 15 卒 岩 田 富久重 (91歳) 21. 6. 29
宮崎県支部 〒882-1101 西臼杵郡高千穂町三田井107
- 昭 22 卒 戸 辺 三千男 (84歳) 21. 6. 30
千葉県支部 〒278-0026 野田市花井250-6
- 昭 10 卒 小 林 薫 (94歳) 19. 11. 9
十勝支部 〒080-0011 帯広市西一条南14-4 ソブエル大通210
- 昭 17.9 卒 渡 邊 富士夫 (89歳) 21. 6. 29
世田谷支部 〒156-0043 世田谷区松原2-40-23
- 昭 22 卒 一 戸 俊 治 (83歳) 21. 7. 9
川崎支部 〒211-0062 川崎市中原区小杉陣屋町1-13-1
- 昭 5 卒 貝 田 昌 幸 (100歳) 21. 7. 13
長崎県支部 〒854-0200 北高来郡森山町杉谷名2899
- 昭 20.9 卒 中 川 博 史 (86歳) 21. 7. 12
愛知県支部 〒461-0004 名古屋市東区葵3-19-29

●昭 25 卒	熊 谷 淳 (79歳)	21. 7. 14
青森県支部	〒030-0862 青森市古川3-17-1	
●昭 19. 9 卒	伊 東 弘 (85歳)	21. 7. 13
愛知県支部	〒467-0047 名古屋市瑞穂区日向町3-41	
●昭 18. 9 卒	齋 藤 恭 助 (87歳)	21. 6. 28
兵庫県支部	〒654-0003 神戸市須磨区神撫町3-6-8	
●昭 37 卒	植 木 正 (72歳)	21. 7. 16
新潟県支部	〒951-8081 新潟市寄附町5016-1	
●昭 24 卒	大 溪 良 夫 (82歳)	21. 7. 20
新潟県支部	〒955-0072 三条市元町3-24	
●推 薦 会 員	福 山 美 枝 (88歳)	21. 7. 17
神奈川西湘支部	〒254-0042 平塚市明石町5-18	
●昭 24 卒	明 楽 和 雄 (82歳)	21. 8. 2
横須賀鎌倉支部	〒112-0001 文京区白山5-25-8	
●昭 18. 9 卒	猪 子 壽 一 (91歳)	21. 7. 19
徳島県支部	〒770-0845 徳島市新内町1-9	

森山貴史君を偲ぶ



平成21年6月21日午後8時15分、多くの友人に見守られながら君は逝った。酒とジャズそして歯科臨床を

愛した君は53歳だった。

飲むと豊富な知識を饒舌に語り、仲間の間では「教授」と呼ばれていた。飲む量はかなり多く、飲み過ぎて怪我をしたこともあったが、仲間達と飲む酒はとても楽しいお酒だった。

学生時代、オーケストラ部からジャズ研に転部、楽器はクラリネットからテナーサクソに変わった。建て替え前の水道橋校舎の屋上で、昼休み黙々とロングトーンの練習をする君の姿を思いだす。日仏会館で

のジャズ研のコンサートは立ち見が出る程の人気ので、卒業後もジャズ研のOB会コンサートに毎年参加した。亡くなる2年前、自ら作ったバンドのライブでは、力強くそしてメロディアスなソロが満席の聴衆をうならせた。

水道橋病院での君は、患者さんからの信頼が厚く優しい先生だった。

君は臨床がとても好きで、自分の技術で患者さんを救えることを本当に喜んでいて。伊豆で開業されている先生が医局を訪れた際、「私は臨床が好きです」と答えたのは君1人だったと言っておられたことを思い出す。

後輩、学生の育成にも携わり、君が監修した水道橋病院研修医向け臨床の手引きは重宝がられていると聞く。開業医に対しても教育を怠ら

水公会（昭和56年卒）

ず、同級生の二階堂君と立ち上げた歯周病勉強会はもう10年以上も続いている。歯科医療に対する君の真摯な姿勢はこれからも受け継がれて行くことだろう。

忘れてはならないのが、テレビ出演による歯周病予防の啓蒙活動である。テレビ出演は23本、ラジオは3本、テレビの中での温かな語り口調はとても評判がよく、東京歯科大学の顔とも言うべき活躍ではなかっただろうか。

君の人柄は、多くの友人を生み、今、多くの人が君の死を悲しんでいる。君の思い出はみんなの心に生き続け、いつまでも語られるだろう。これまでの君からの友情に感謝し、別れの言葉とする。

(溝越俊二 記)

◆投稿規定

(1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

(3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文

のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

③ 「追悼」は、500字程度

(4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

(5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp/only/kouhoubu.html> をご覧ください。

◆へんしゅうこうき

★ 本年4月、メキシコで発生が確認された新型インフルエンザの流行は国内ではその第1波がほぼ収まりましたが、南半球の国々では流行を続けており、国内でも感染確認者が5000名を超え、秋以降いつ全国的かつ大規模な第2波の流行が発生してもおかしくないといわれています。さらにウイルスの変異によって強毒化する懸念もあります。ワクチンの製造も7月より開始されましたが充分な量が間に合うことは難しいようです。身近な所でも5月には薬局の店頭からマスクが姿を消し、一時は業者に発注しても診療用のマスクが手に入らない状況もありました。治療にも支障が出かねないこのような問題が再び繰り返されないとも限りません。私たちが今のうちに対策を考える必要を感じます。

★ 本校の水道橋移転計画の現状につき、金子学長と大山同窓会長、関専務理事との座談会が1年ぶりに開かれました。世界同時不況の影響もあり、前回から計画変更となった部分も出てきましたが、3年後の平成24年4月に新入生が水道橋の校舎に入学するとのスケジュールが明らかになりました。大学の高機能化と低経費化、水道橋への原点回帰という基本理念の下、これからも順調に事業がすすめられることが期待されます。

★ 東歯学会の活動が活発です。歯科学報もQ&A等より臨床に即した記事も増え、120周年記念事業関連の記事も充実しています。さらに本年10月18日(日)に水道橋で開催される学会では、歯科医院でのクレーム対応の講演や、新たな再生療法についてのシンポジウムも企画されており、同窓会員としても興味深い企画がたてられています。

★ レセプトオンライン化はその期限のみが迫るばかりで、内容についてはなかなか明確になりませんが、保険のページでは現在の状況が解説されています。特に自院の立場と今後の対応を考える資料としてご活用ください。

(小池 修 記)

広報部委員会

委員長 小林 伯男
委員 内山 健志
委員 林 量一
委員 東郷 幹夫
委員 白田 準
委員 小池 修
委員 尾崎 圭子
委員 福井 雅之

広報部担当理事 三友 和夫

平成21年8月20日 印刷

平成21年8月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第371号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 三 友 和 夫

編集人 小 林 伯 男

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)

ホームページ会員ページログイン(情報部)

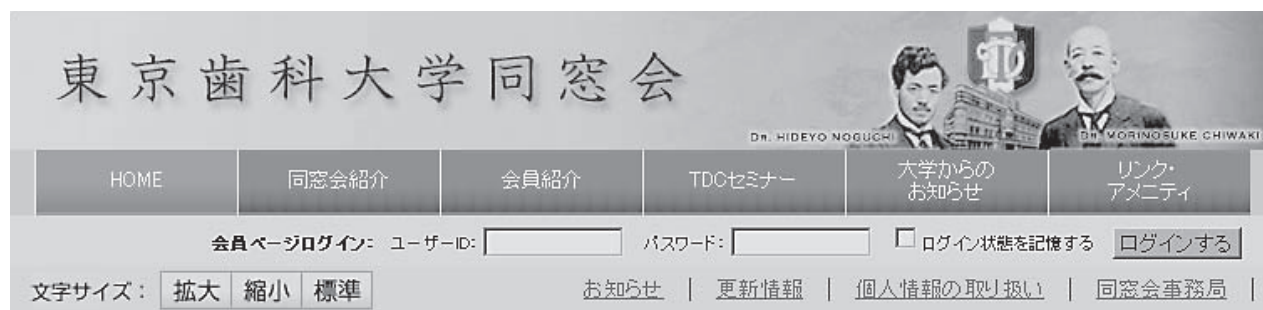
同窓会ホームページに関するお知らせ

1. ホームページの会員ページについて

会報2月号でご案内いたしました様に平成21年3月3日より、同窓会ホームページのログイン方法ならびにユーザーID・パスワードを変更いたしました。新しくトップページの右上にユーザーIDとパスワードを入力する欄を設け、そこに新しいユーザーIDとパスワードを入力して頂くことにより、会員のみが閲覧可能なトップメニューが表示される仕組みになりました。この変更で大幅にセキュリティが向上致しますので、会員の皆様にはお手数をお掛けして申し訳ございませんが、ご協力の程お願いいたします。さらに、「ログイン状態を記憶する」にチェックを入れていただければ、次回から自動的にログインすることが出来ますので是非ご利用下さい。

なお、このユーザーIDとパスワードについては、会員以外に知られないよう厳重な管理と守秘をお願いいたします。

<http://www.tdc-alumni.jp>



新しいユーザーID：tdc-alumni【半角】

新しいパスワード：p83fkW7m【半角】

2. ホームページへの投稿について

情報部委員会では、①トップページの写真 ②会員のHP紹介 ③同窓会員の著作紹介等に関する投稿を募集しております。いずれも情報部アドレスまで電子メールでお送り下さい。順次掲載させていただきます。

- 1 トップページの写真については、画像ファイル (JPEG形式、サイズは900×600pixels程度まで) 添付の上、メール本文に、ご氏名、都道府県名、卒業年、写真のタイトル、撮影日をご記入下さい。
- 2 会員のHP紹介については、メール本文に、ご氏名、都道府県名、卒業年、HPのアドレスをご記入下さい。
- 3 同窓会員の著作紹介については、メール本文に、本のタイトル、著者名、出版社名等必要と思われる情報をご記入下さい。

情報部メールアドレス：joho@tdc-alumni.jp

同窓会情報部委員会